

平成30年度 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

日時:2018年7月27日(金)14:00～

場所:静岡市消防局 葵消防署

議 事 次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

- (1) これまでの取り組み経緯
- (2) 実施した渋滞対策
- (3) 今年度の主な取り組み
- (4) 交通状況のモニタリング
- (5) 県全体の交通状況・トピック等

4. 閉 会

<配布資料>

- ・資料:平成30年度第1回静岡県道路交通渋滞対策推進協議会
- ・資料:参考資料

平成30年度 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会名簿

	所 属	役 職	氏 名	備 考
◎	中部地方整備局	静岡国道事務所長	隅藏 雄一郎	
	〃	建政部 都市整備課長	森山 幸司	(欠席)
	〃	道路部 道路計画課長	大谷 江二	(代理)課長補佐 長谷川 裕修
	〃	道路部 地域道路課長	廣瀬 昌俊	
	〃	道路部 交通対策課長	石垣 政彦	(代理)課長補佐 加藤 正臣
	〃	沼津河川国道事務所長	藤井 和久	(代理)副所長 中川 哲也
	〃	浜松河川国道事務所長	尾藤 文人	(代理)副所長 平井 親一
	中部運輸局	交通政策部 計画調整官	田中 範明	(欠席)
	〃	静岡運輸支局長	古橋 由忠	(代理)首席運輸企画専門官 久保田 素広
	静岡県	交通基盤部 道路局 道路企画課長	曾根 裕介	(随行)主査 白井 幸雄
	〃	交通基盤部 道路局 道路整備課長	青木 直己	
	〃	交通基盤部 道路局 道路保全課長	松井 三千夫	(代理)班長 関野 勇治
	〃	交通基盤部 都市局 都市計画課長	鈴木 雅則	(代理)主査 大井戸 志朗
	〃	交通基盤部 都市局 地域交通課長	大倉 篤	(欠席)
	〃	交通基盤部 都市局 街路整備課長	勝又 泰宏	(代理)主査 藤島 政記
	静岡市	建設局 道路部長	糟屋 倫生	(代理)道路計画課 課長 塚田 俊明 (随行)道路計画課 主任技師 渡邊 泰史
	〃	都市局 都市計画部 交通政策担当部長	梶山 知	(欠席)
	浜松市	土木部長	柴山 智和	(代理)参与 塚本 光洋
	〃	都市整備部長	岡本 光一	(代理)交通政策課 課長 鈴木 明彦
	静岡県警本部	交通部 参事官兼交通企画課長	小川 敏行	(欠席)
	〃	交通部 交通規制課長	鈴木 宏哉	(代理)課長補佐 杉山 喜宏
	中日本高速道路(株)東京支社	総務企画部 企画調整チーム リーダー	伊原 泰之	
	〃	保全・サービス事業部 交通技術チーム リーダー	山本 隆	
	〃	保全・サービス事業部 交通管制チーム リーダー	相良 健次	(欠席)
	静岡県道路公社	常務理事	野知 泰裕	(代理)道路部 部長 山田 正秋 (随行)道路部 企画業務課 課長代理 鈴木 正一
	静岡県トラック協会	専務理事	窪田 智樹	
	静岡県バス協会	専務理事	平野 洋一	
	静岡県タクシー協会	専務理事	八木 孝雄	(欠席)
事務局				
	中部地方整備局 静岡国道事務所 計画課			
	中部運輸局 静岡運輸支局			
	静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課			
	静岡県警本部 交通部 交通規制課			
	静岡市 建設局 道路部 道路計画課			
	浜松市 土木部 道路課			

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会規約

第1条（名 称）

本協議会は「静岡県道路交通渋滞対策推進協議会」（以下協議会という）と称する。

第2条（目 的）

静岡県内における道路交通の渋滞解消を図るため、道路管理者、公安委員会、運輸局、及び都市計画部局など関係機関の間で意見交換、調整を図り、円滑な道路交通を確保するとともに、健全な都市形成に資することを目的とする。

第3条（組 織）

協議会は本目的に関係する団体等で構成する。

第4条（協議会）

1. 協議会は委員の要請により会長が招集する。
会長は国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所長とする。
2. 委員は、別表1に定めるとおりとする。但し、必要に応じ関係者の出席を求めることができるものとする。

第5条（協議会の運営・進行）

協議会の運営・進行は、会長がこれにあたることとする。

第6条（検討部会）

1. 第2条に規定する事項について、静岡県の西部、中部、東部伊豆地域ごとに事前調査及び調整を行うため、協議会に各地域の検討部会を置く。
2. 検討部会の部会長は関係地域の国土交通省直轄国道事務所の副所長（技）とする。
3. 検討部会は協議会を組織している関係団体等のなかから部会長が指名する職員で組織する。但し、必要に応じ関係者の出席を求めることができるものとする。
4. 第4条及び第5条の規定は検討部会の会議に準用する。この場合において、同条中「協議会」とあるのは「検討部会」、会長とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

第7条（事務局）

協議会の事務局は国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所計画課、中部運輸局静岡運輸支局、静岡県交通基盤部道路局道路企画課、静岡県警察本部交通部交通規制課、静岡市建設局道路部道路計画課、及び浜松市土木部道路企画課に置く。

また、検討部会の事務局は部会長が所属する国土交通省直轄国道事務所の調査担当課に置く。

第8条（その他）

本規約に規定されていない事項については協議会に諮り決定することとする。

＜附 則＞

1. この規約は平成2年12月14日から施行する。
2. この規約改正は平成5年 6月14日から施行する。
3. 静岡県道路交通円滑化連絡協議会（平成2年12月14日発足）は廃止する（平成5年6月14日付）
4. この規約改正は平成 5年 8月30日から施行する。
5. この規約改正は平成 6年 9月21日から施行する。
6. この規約改正は平成 9年 3月19日から施行する。
7. この規約改正は平成 9年10月30日から施行する。
8. この規約改正は平成17年10月31日から施行する。
9. この規約改正は平成20年 1月15日から施行する。
10. この規約改正は平成24年 6月27日から施行する。
11. この規約改正は平成25年 6月28日から施行する。
12. この規約改正は平成27年 3月23日から施行する。
13. この規約改正は平成27年 9月29日から施行する。
14. この規約改正は平成28年 7月25日から施行する。

平成30年度 第1回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

場所：静岡市消防局 葵消防署

[目 次]

1. これまでの取り組み経緯
 2. 実施した渋滞対策
 3. 今年度の主な取り組み
 4. 交通状況のモニタリング
 5. 県全体の交通状況・トピック等
-

2018年7月27日（金）
静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 事務局

1. これまでの取り組み経緯

1. これまでの取り組み経緯

□ 2015年度以降の取組経緯

年度	検討部会・協議会	議事概要
2015年度	【各エリアでの検討部会】	● 2014年度に実施した対策、2015年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【渋滞対策推進協議会】 2015.9.29（火）	● 2014年度に実施した対策、2015年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換 <u>（⇒寺尾交差点を削除）</u>
	【各エリアでの検討部会】	● 2015年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、2016年度に実施する対策に関する意見交換
2016年度	【各エリアでの検討部会】	● 「エリアの渋滞対策の基本方針」に関する意見交換 ● 2015年度に実施した対策、2016年度に実施する対策に関する意見交換（2016年度は通常期の渋滞対策に加え、「休日の渋滞対策」を検討） ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【渋滞対策推進協議会】 2016.7.25（月）	● 「エリアの渋滞対策の基本方針」に関する意見交換 ● 2015年度に実施した対策、2016年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換 <u>（⇒久能IC、国本IC、瀬名IC、安西橋西交差点、西島交差点、二之宮交差点を削除）</u>
	【各エリアでの検討部会】	● 2016年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、2017年度に実施する対策に関する意見交換
2017年度	【各エリアでの検討部会】	● 2016年度に実施した対策、2017年度に実施する対策に関する意見交換（2016年度は通常期の渋滞対策に加え、「休日の渋滞対策」を実施） ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【渋滞対策推進協議会】 2017.7.28（金）	● 2016年度に実施した対策、2017年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換 <u>（⇒大幡川橋交差点、中之郷入口交差点、浜名バイパス(大倉戸IC付近)を削除）</u>
	【各エリアでの検討部会】	● 2017年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、2018年度に実施する対策に関する意見交換
2018年度	【各エリアでの検討部会】	● 2017年度に実施した対策、2018年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【第1回渋滞対策推進協議会】 「本日」	● 2017年度に実施した対策、2018年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、静岡県交通トピック
	【各エリアでの検討部会】	● 2017年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、2018年度に実施する対策に関する意見交換

2. 実施した渋滞対策

2. 実施した渋滞対策

2-1 2013～2017年度に実施した対策

赤字：次ページ以降にて詳細資料あり

道路整備等

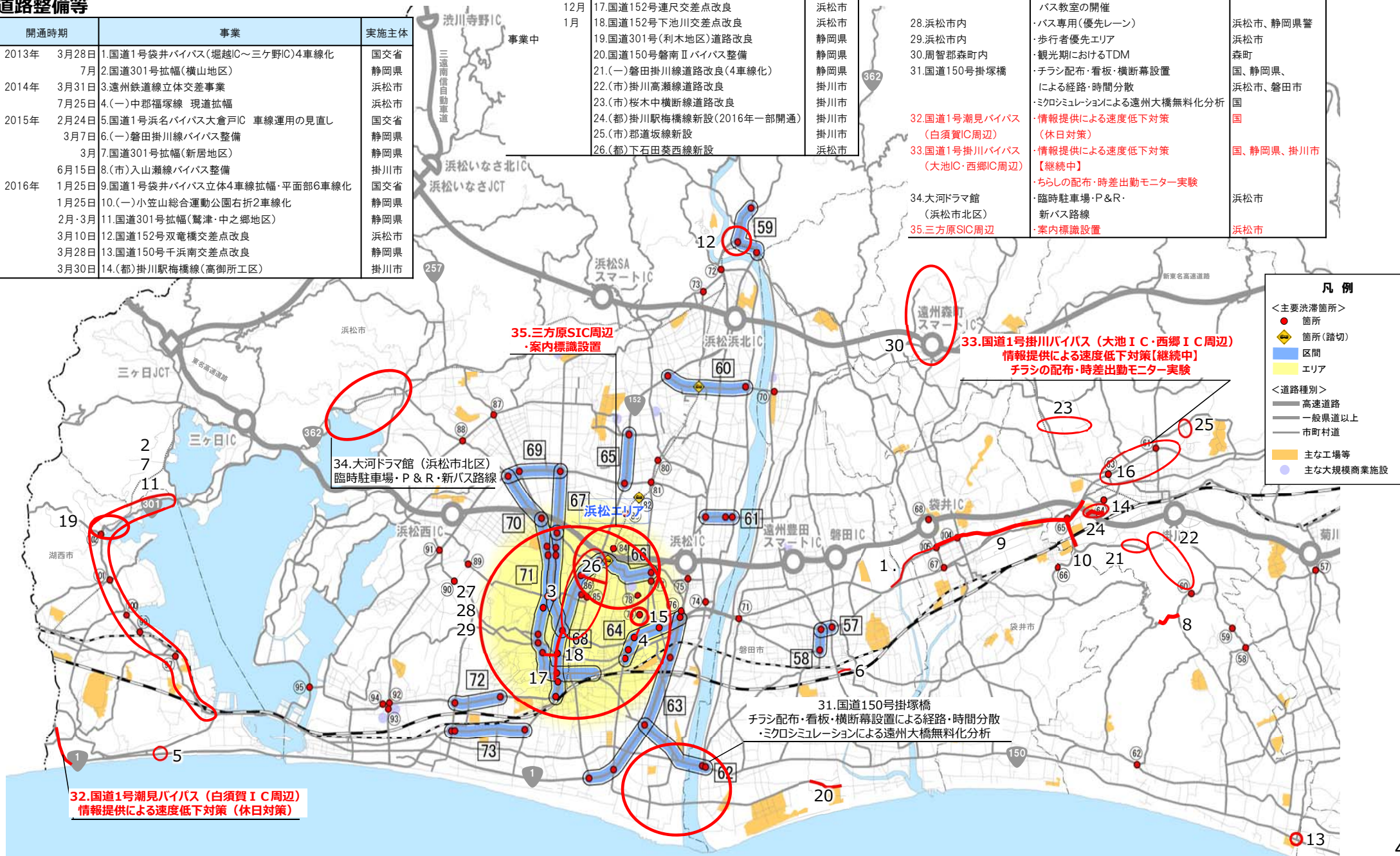
開通時期	事業	実施主体
2013年 3月28日	1. 国道1号袋井バイパス(堀越IC～三ヶ野IC)4車線化	国交省
7月	2. 国道301号拡幅(横山地区)	静岡県
2014年 3月31日	3. 遠州鉄道線立体交差事業	浜松市
7月25日	4. (一)中郡塚線 現道拡幅	浜松市
2015年 2月24日	5. 国道1号浜名バイパス大倉戸IC 車線運用の見直し	国交省
3月7日	6. (一)磐田掛川線バイパス整備	静岡県
3月	7. 国道301号拡幅(新居地区)	静岡県
6月15日	8. (市)入山瀬線バイパス整備	掛川市
2016年 1月25日	9. 国道1号袋井バイパス立体4車線拡幅・平面部6車線化	国交省
1月25日	10. (一)小笠山総合運動公園右折2車線化	静岡県
2月・3月	11. 国道301号拡幅(鷺津・中之郷地区)	静岡県
3月10日	12. 国道152号双竜橋交差点改良	浜松市
3月28日	13. 国道150号千浜南交差点改良	静岡県
3月30日	14. (都)掛川駅梅橋線(高御所工区)	掛川市

道路整備等

開通時期	事業	実施主体
2016年 8月	15. 市道 原島西交差点改良	浜松市
12月	16. (主)天竜掛川線大池IC交差点信号連動化	掛川署
1月	17. 国道152号連尺交差点改良	浜松市
事業中	18. 国道152号下池川交差点改良	静岡県
	19. 国道301号(利木地区)道路改良	静岡県
	20. 国道150号磐南IIバイパス整備	静岡県
	21. (一)磐田掛川線道路改良(4車線化)	静岡県
	22. (市)掛川高瀬線道路改良	掛川市
	23. (市)桜木中横断線道路改良	掛川市
	24. (都)掛川駅梅橋線新設(2016年一部開通)	掛川市
	25. (市)郡道坂線新設	掛川市
	26. (都)下石田葵西線新設	浜松市

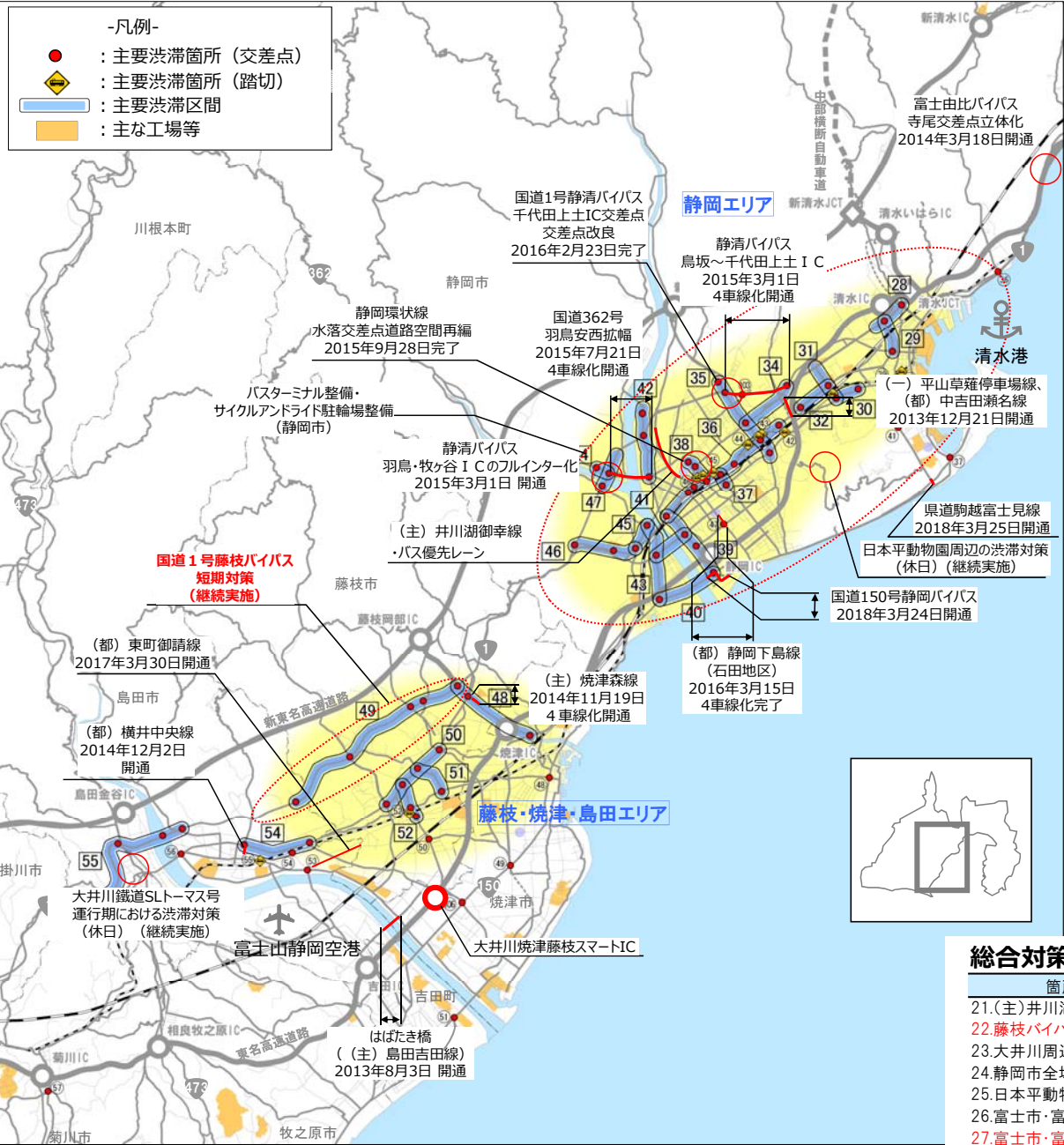
総合対策等

箇所	実施施策	実施主体
27. 浜松市内	・バス路線図、公共交通利用促進パンフレット配布、バス教室の開催	浜松市
28. 浜松市内	・バス専用(優先レーン)	浜松市、静岡県警
29. 浜松市内	・歩行者優先エリア	浜松市
30. 周智郡森町内	・観光期におけるTDM	森町
31. 国道150号掛塚橋	・チラシ配布・看板・横断幕設置による経路・時間分散 ・ミクロシミュレーションによる遠州大橋無料化分析	国、静岡県、浜松市、磐田市
32. 国道1号潮見バイパス(白須賀IC周辺)	・情報提供による速度低下対策(休日対策)	国
33. 国道1号掛川バイパス(大池IC・西郷IC周辺)	・情報提供による速度低下対策【継続中】 ・ちらしの配布・時差出勤モニター実験	国、静岡県、掛川市
34. 大河ドラマ館(浜松市北区)	・臨時駐車場・P&R・新バス路線	浜松市
35. 三方原SIC周辺	・案内標識設置	浜松市



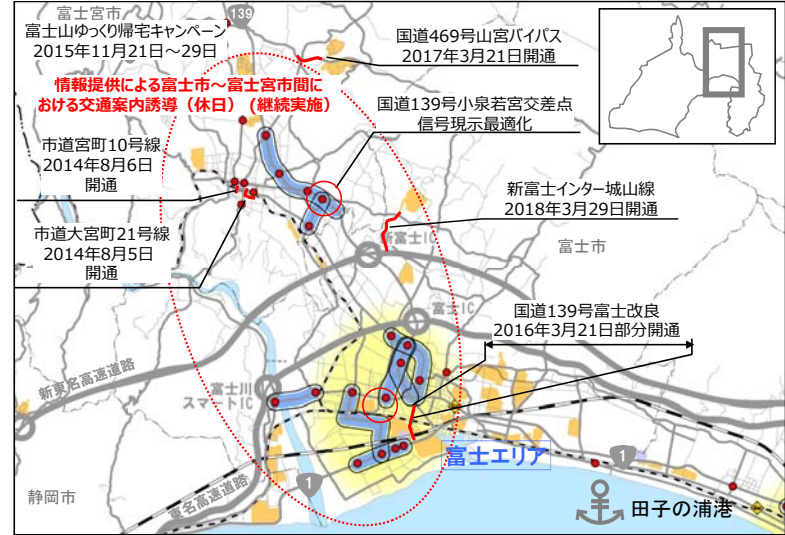
2. 実施した渋滞対策

◆ 静岡エリア、藤枝・焼津・島田エリア



◆ 富士エリア

赤字：次ページ以降にて詳細資料あり



道路整備等

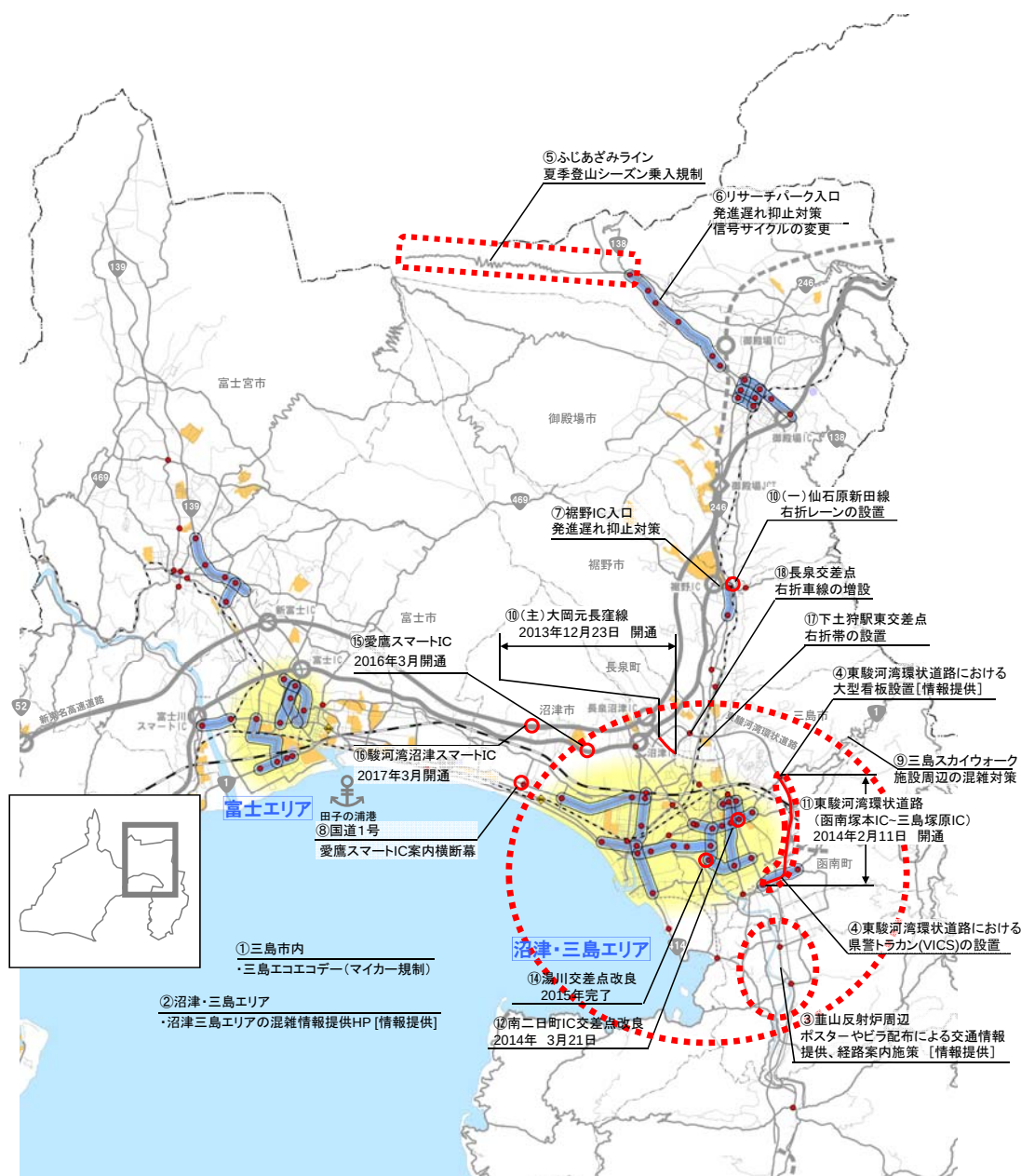
開通時期	事業	実施主体
2013年	8月3日 1.はばたき橋((主)島田吉田線)	静岡県
	12月21日 2.(一)平山草薙停車場線、(都)中吉田瀬名線	静岡市
2014年	3月18日 3.富士由比バイパス寺尾交差点立体化	国
	8月5日 4.市道大宮町21号線	富士宮市
	8月6日 5.市道宮町10号線	富士宮市
	11月19日 6.(主)焼津森線一部4車線化	静岡県
	12月2日 7.(都)横井中央線	島田市
2015年	3月1日 8.静清バイパス羽鳥・牧ヶ谷ICのフルインター化	国
	3月1日 9.静清バイパス鳥坂～千代田上土IC4車線化	国
	7月21日 10.国道362号 羽鳥安西拡幅4車線化	静岡市
	9月28日 11.(一)静岡環状線 道路空間再編	静岡市
2016年	3月15日 12.(都)静岡下島線(石田地区) 4車線化	静岡市
	2月23日 13.静清バイパス千代田上土IC交差点改良	国
	3月12日 14.大井川焼津藤枝スマートIC	NEXCO中日本、焼津市、藤枝市
2017年	3月21日 15.国道139号富士改良(部分完了)	国
	3月21日 16.国道469号山宮バイパス	静岡県
	3月30日 17.(都)東町御請線	島田市
2018年	3月24日 18.国道150号静岡バイパス	静岡市
	3月25日 19.県道駒越富士見線	静岡市
	3月29日 20.新富士インター城山線	富士市

総合対策等

箇所	実施施策	実施主体
21.(主)井川湖御幸線	・バス優先レーン等	静岡市、県警本部、しずてつジャストライン
22.藤枝バイパス周辺	・国道1号藤枝バイパス短期対策(看板の設置)	国、静岡県、藤枝市
23.大井川周辺	・大井川鉄道トーマス号運行期における渋滞対策[継続実施]	島田市
24.静岡市全域	・バスターミナル、サイクルアンドライド駐輪場整備	静岡市
25.日本平動物園周辺	・日本平動物園周辺の渋滞対策[継続実施]	静岡市
26.富士市・富士宮市など	・富士山ゆくり帰宅キャンペーン	国
27.富士市・富士宮市など	・富士-富士宮間の観光交通誘導対策[継続実施]	国
28.国道139号	・小泉若宮交差点 信号現示最適化	静岡県警

2. 実施した渋滞対策

◆ 沼津・三島エリア、御殿場地区、裾野地区



総合対策等

箇所	実施施策	実施主体
①三島市内	・三島エコエコー (マイカー削減) 継続中	・三島市
②沼津・三島エリア	・沼津三島エリアの混雑情報提供HP 継続中(2015年～)	・国
③蓼山反射炉周辺	・ポスターやビラ配布による交通情報提供、経路案内施策 ・蓼山反射炉への推奨ルートに恒久的な誘導看板を設置 継続中(2015年～)	・国 ・静岡県 ・伊豆の国市
④東駿河湾環状道路	・大型看板設置 [情報提供] 継続中(2016年～) ・東駿河湾環状道路への県警トラカン(VICS)の設置	・国 ・静岡県警
⑤ふじあざみライン	・夏季登山シーズンの渋滞緩和及び自然環境の保全のためマイカーの乗り入れを規制 継続中(1994年～)	・小山町
⑥リサーチパーク入口交差点	・発進遅れ抑止対策(看板設置) 2016年実施 ・信号サイクルの変更 完了(2017年)	・国 ・静岡県警
⑦裾野IC入口交差点	・発進遅れ抑止対策(横断幕設置) 2016年実施	・国
⑧国道1号	・愛鷹スマートIC誘導案内横断幕 完了(2017年)	・国
⑨三島スカイウォーク	・三島スカイウォーク周辺の混雑対策 継続中(2016年～)	・施設管理者

道路整備等

開通時期	事業	実施主体
2013年 1 2 月	⑩ (主) 大岡元長窪線	・長泉町
2014年 2 月	⑪ 東駿河湾環状道路 (三島塚原IC~函南塚本IC間)	・国
3 月	⑫ 南二日町IC交差点改良	・国
3 月	⑬ (一) 仙石原新田線 右折レーンの設置	・静岡県
2015年 3 月	⑭ 湯川交差点改良	・静岡県
2016年 3 月	⑮ 愛鷹スマートIC	・沼津市
2017年 3 月	⑯ 駿河湾沼津スマートIC	・沼津市
3 月	⑰ 下土狩駅東交差点 右折帯の設置	・長泉町
6 月	⑱ 長泉交差点 右折車線の増設	・国

◆ 伊豆地域



道路整備等

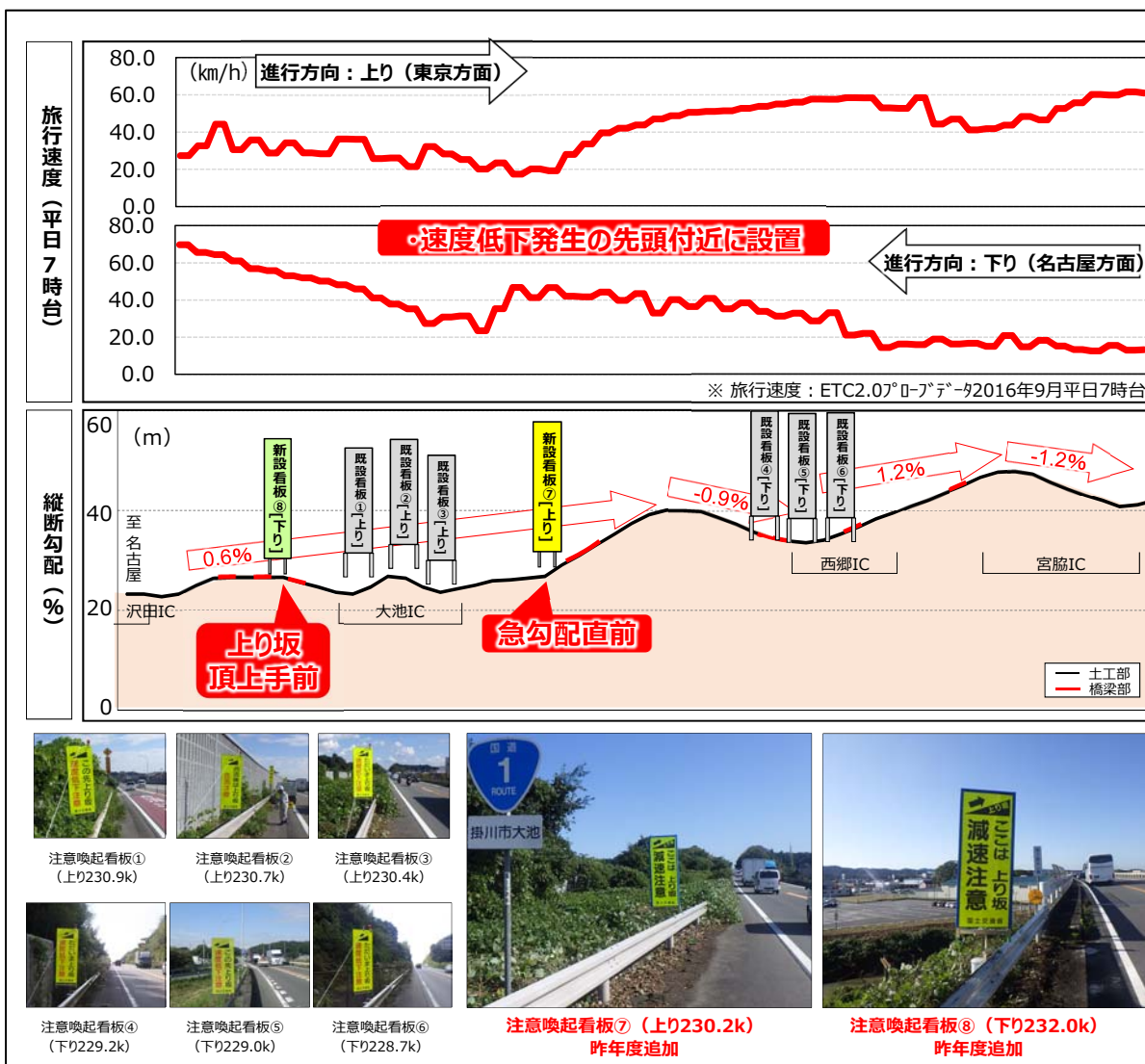
開通時期	事業	実施主体
2014年 8月	⑥(一)伊東川奈八幡野線 拡幅	・静岡県
2017年 1月	⑦広野交差点 左折レーンの設置	・静岡県

2. 実施した渋滞対策

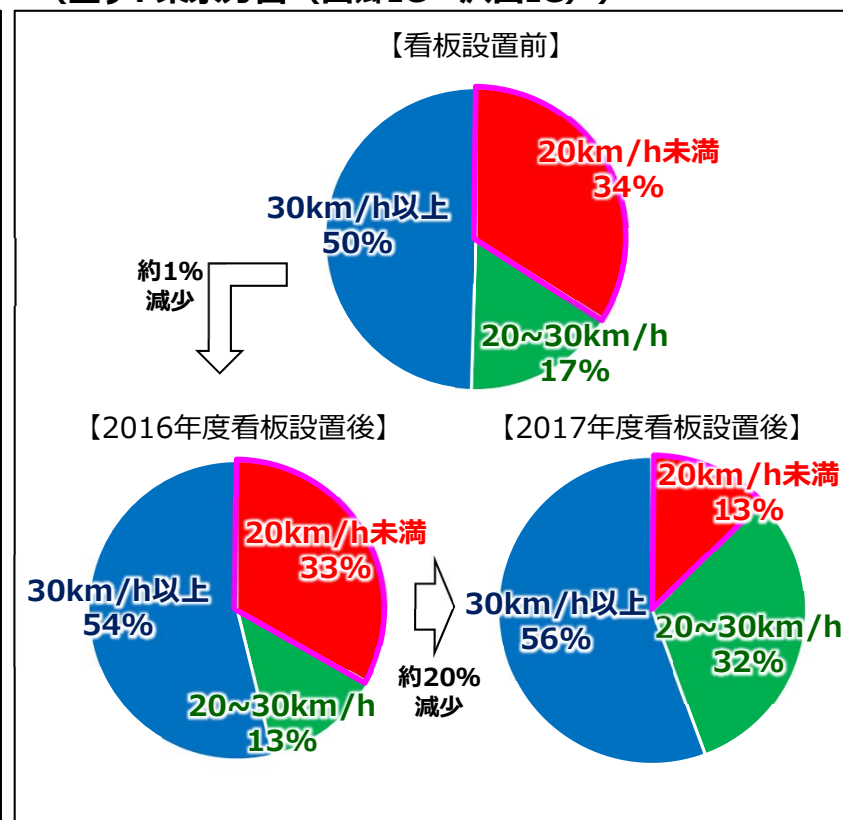
(1) 掛川バイパス:SL看板の設置による情報提供（実施主体:国）＜継続実施＞

- 2016年10月から設置している注意喚起看板に加え、昨年度は、速度低下が発生する箇所に新たな看板を設置した。
- また、速度低下がある程度抑制され、平日の朝の通勤時間帯において、上り線での低速車両（20 km/h 未満）の割合が大幅に減少。

■ 実施した対策：S L 看板の増設



■ 速度低下車両の割合の変化（平日） （上り：東京方面（西郷IC～沢田IC））



※平日の通勤時間帯（6時～9時）
※ETC2.0プローブ情報（2016年9月・11月・2017年11月）

2. 実施した渋滞対策

(2) 掛川バイパス:情報提供ちらしの配布・時差出勤モニター実験（実施主体:国）＜完了＞

- 通勤交通の集中により、朝（特に7時台）に渋滞が発生しているため、渋滞緩和を目的とした出勤時間の分散の取り組みを実施
- 掛川バイパスを利用する沿線住民、沿線企業に対して、静岡県、掛川市と連携し、チラシによる情報提供を実施沿線企業と掛川市をモニターとして、時差出勤の実験を実施
- 時差出勤モニター実験では、渋滞緩和によるストレス解消、時間の有効活用や安全面の向上等を実感する声が挙がっている一方で、“職場の駐車場が遠くなる”・“大型車の通行量増”等のネガティブな意見も見られた。

① 時間分散の情報提供

【情報提供内容】

- 朝の通勤時間の15分毎の通過時間を提供することで、混雑時間を避けるように促す

【情報提供先】

- 沿線住民(10地区)に約2,300部を配布(10月11日～)
- 沿線企業(26社)を訪問し取り組みを依頼(10月26日～)

【配布チラシ】



② 時差出勤の実験

【実験内容】

- 掛川バイパスの混雑時間帯を避けるために、出勤時間（早出・遅出）を変更した場合の効果、影響を確認

【実験対象】

沿線企業：三菱電機照明(株)掛川北工場、清和海運(株)掛川物流センター、N E Cプラットフォームズ(株)
自治体：掛川市役所

【実施時期】

2017年11月6日～11月30日

【モニターからの意見】

【ポジティブな意見】

- 通常渋滞している区間がスムーズに走行できた【遅出】
- 渋滞が緩和され、スムーズに走行できるので、ストレスがたまらない【早出】
- 通勤時間が短縮され、朝の貴重時間を有効に使うことができた【遅出】
- 児童の通学時間とかぶらないため、安全面でリスクが検証した【遅出】
- 子供を登園させることができた【遅出】

【ネガティブな意見】

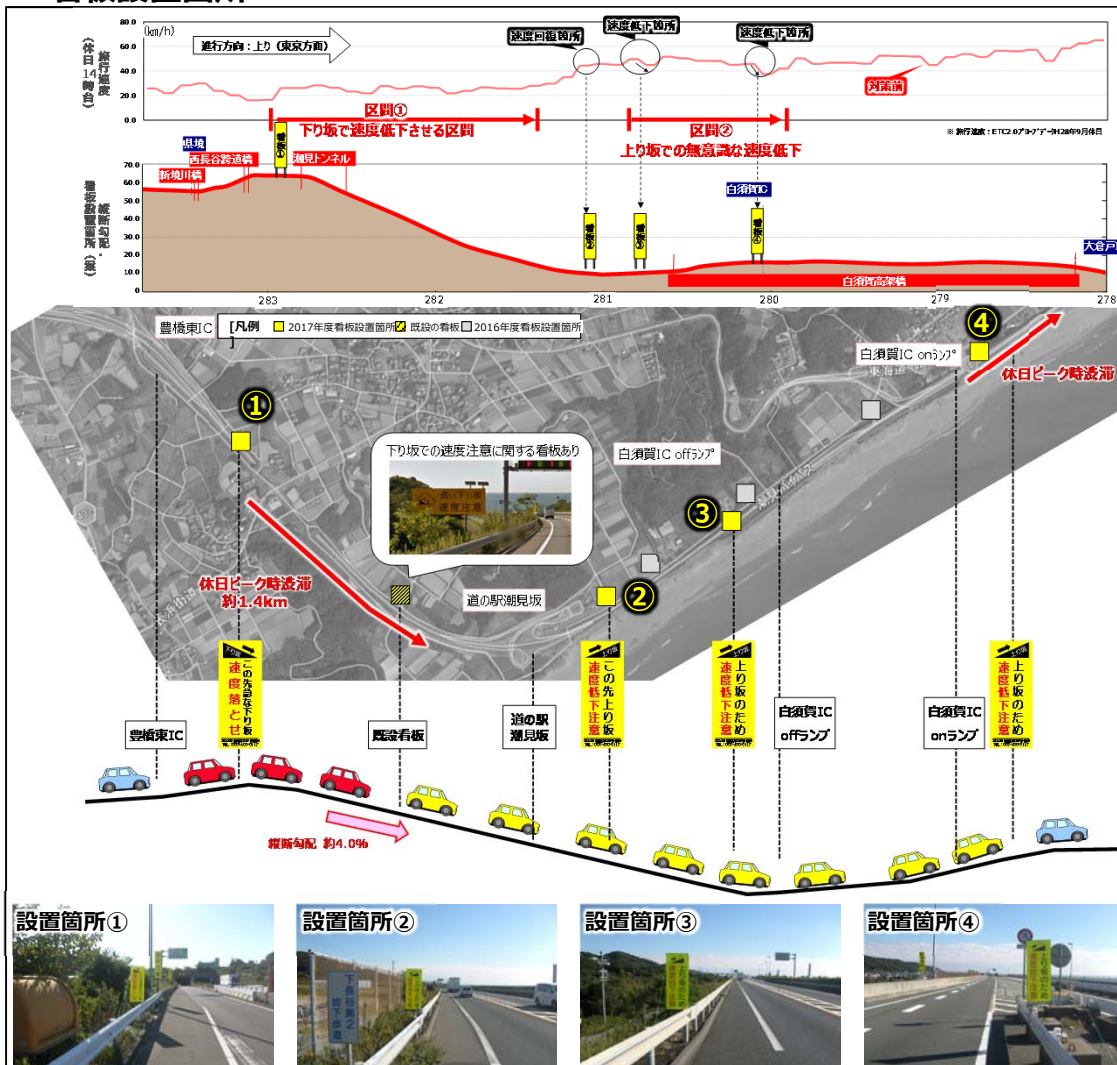
- 出発時間を通常より早めたことで、朝、自宅でバタバタしてしまう【早出】
- 職場の駐車場が、職場から遠い場所しか空いていなかった【遅出】
- 通勤時間を遅くしたことにより、大型トラック等の車両が多く、（県）日坂沢田線は少し混雑していた【遅出】

2. 実施した渋滞対策

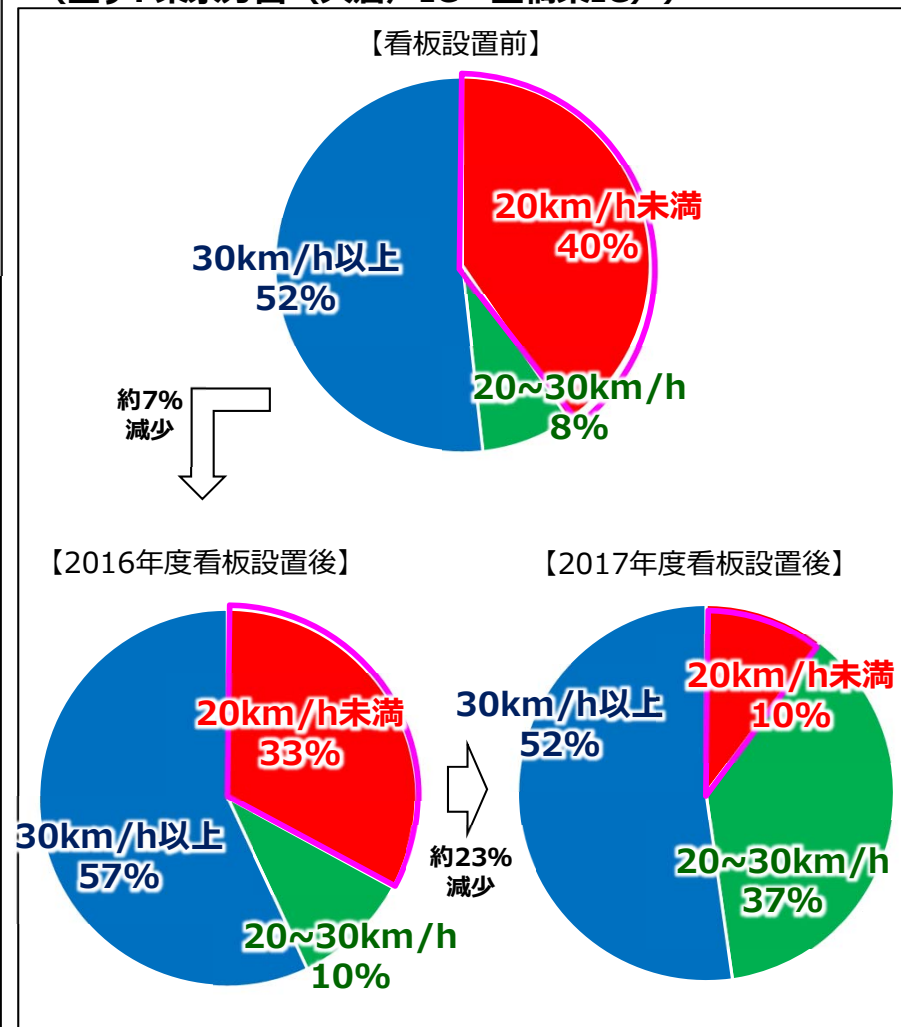
(3) 潮見バイパス:SL看板の設置による情報提供（実施主体:国）＜完了＞

- 2016年度に設置した注意喚起看板に加え、昨年度は、速度低下が発生する箇所に着目した箇所に看板を設置。
- 事前周知による注意喚起により、2016年度対策時と比較して旅行速度が向上傾向。
- 速度低下がある程度抑制され、休日のピーク時間帯において、上り線での低速車両（20 km/h 未満）の割合が大幅に減少。

■ 看板設置箇所



■ 速度低下車両の割合の変化（休日） （上り：東京方面（大倉戸IC～豊橋東IC））



※休日のピーク時間帯（10時～16時）
※ETC2.0プローブ情報（2016.9月・2017.11月）

2. 実施した渋滞対策

(4) 三方原SIC:スマートインターの供用及び誘導案内（実施主体:浜松市）＜完了＞

① 対策概要

- 2017年3月18日に東名高速道路三方原スマートICが開通。
- 三方原スマートIC利用者に、三方原スマートICへの経路案内を目的とした案内標識を設置(2017年6月)。
- 東名高速道路へのアクセス交通の分散化を促進することにより、渋滞緩和を図る。

■位置図

・静岡県浜松市



【今年度の取り組み】

- ・標識設置による誘導計画実施後の流動変化の把握
 - ・周辺の主要渋滞箇所の状況把握
- ⇒ETC2.0プローブデータを活用し、スマートIC整備前後、誘導標識設置後の三方原スマートICの利用圏域の変化を分析
- ⇒実態調査結果を踏まえ、主要渋滞箇所への影響を分析

■三方原スマートICの整備効果

周辺住宅や開発地区、中心市街地から高速道路へのアクセス向上

- 浜松市の中心市街地で開発が進む浜北新都市地区から、高速道路へのアクセス性が向上すると共に、周辺の地域住民にとっても高速道路を利用する際のインターチェンジ（浜松IC等）への所要時間短縮や既存インターチェンジの混雑回避などから利便性向上が期待。

⇒周辺道路への標識設置による効果の最大化

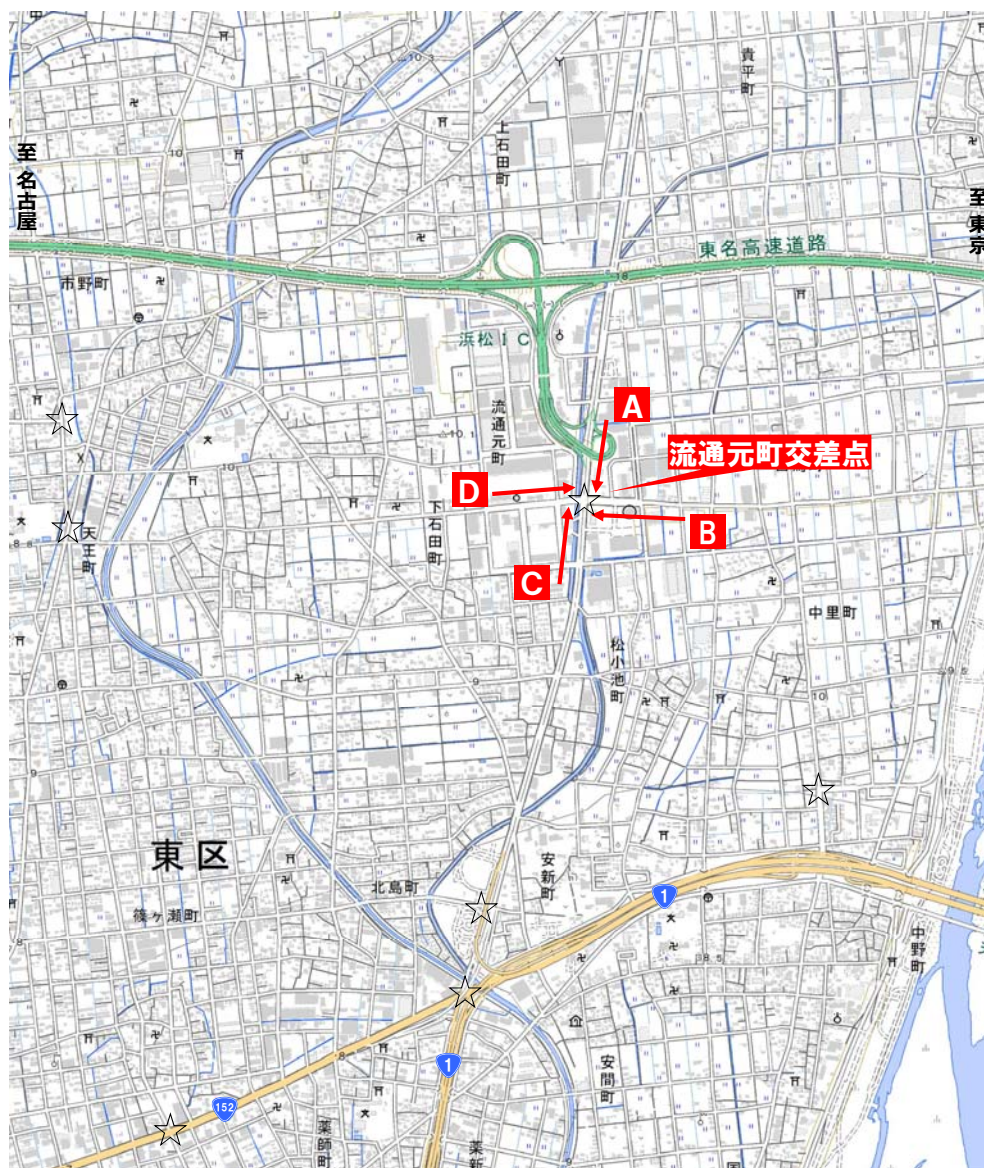
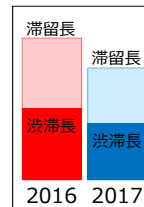
■対策メニュー



2. 実施した渋滞対策

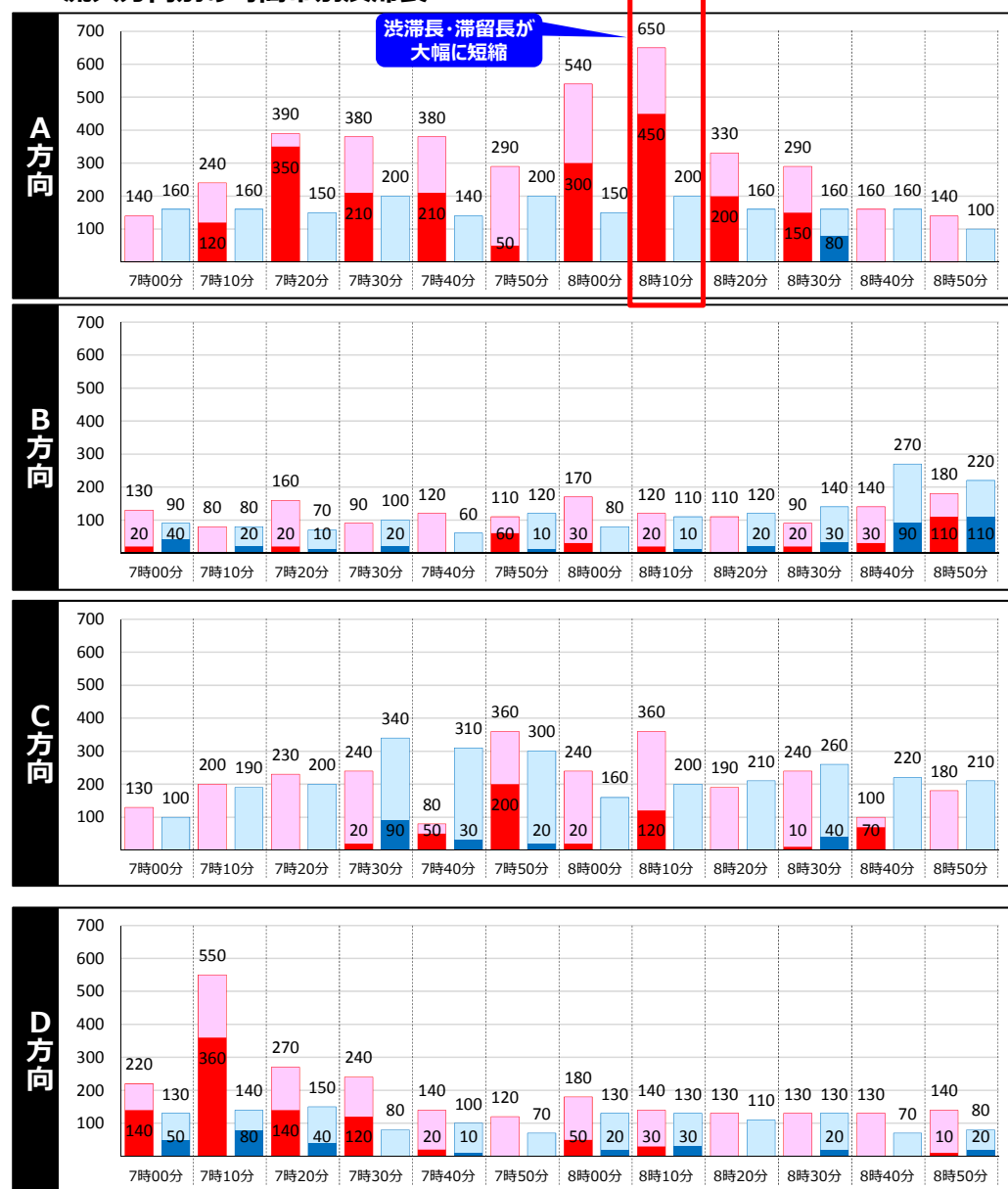
② 整備効果：流通元町交差点の渋滞発生状況

- 流通元町交差点の渋滞発生状況を見ると、全方向で滞留長・渋滞長が短縮傾向。
- 特に、北側からの流入方向においては、浜松 I C へのアクセスしていた車両が三方原 SIC に転換したと想定され、ピーク時に450mの渋滞長が発生していたが、解消が見られる。



出典：三方原SIC供用前：2016.11. 1 (火) 実態調査結果
三方原SIC供用後：2017.10.26 (木) 実態調査結果

■ 流入方向別の時間帯別渋滞長



2. 実施した渋滞対策

(5) 国道1号藤枝バイパスにおける渋滞ソフト対策（実施主体：国）＜完了・一部継続中＞

1) 対策実施内容

○2016・2017年度において8月上旬～9月下旬に「サグ部での無意識な速度低下に対する施策」、「ICの適正利用を促す施策」を実施。

■ 藤枝バイパスの渋滞課題と対応する施策の推進

《2016年度実施》

SL看板・LED表示板による対策（8月上旬～9月下旬）

- ・サグ部での無意識な速度低下に関する施策
- ・ICの適正利用を促す施策

対策効果の確認と課題の抽出

広幡ICの適正利用を促す
SL看板の設置継続

サグ部での無意識な速度低下
に関する施策等について
改良案の検討

《2017年度実施》

SL看板による対策（フェーズ1）

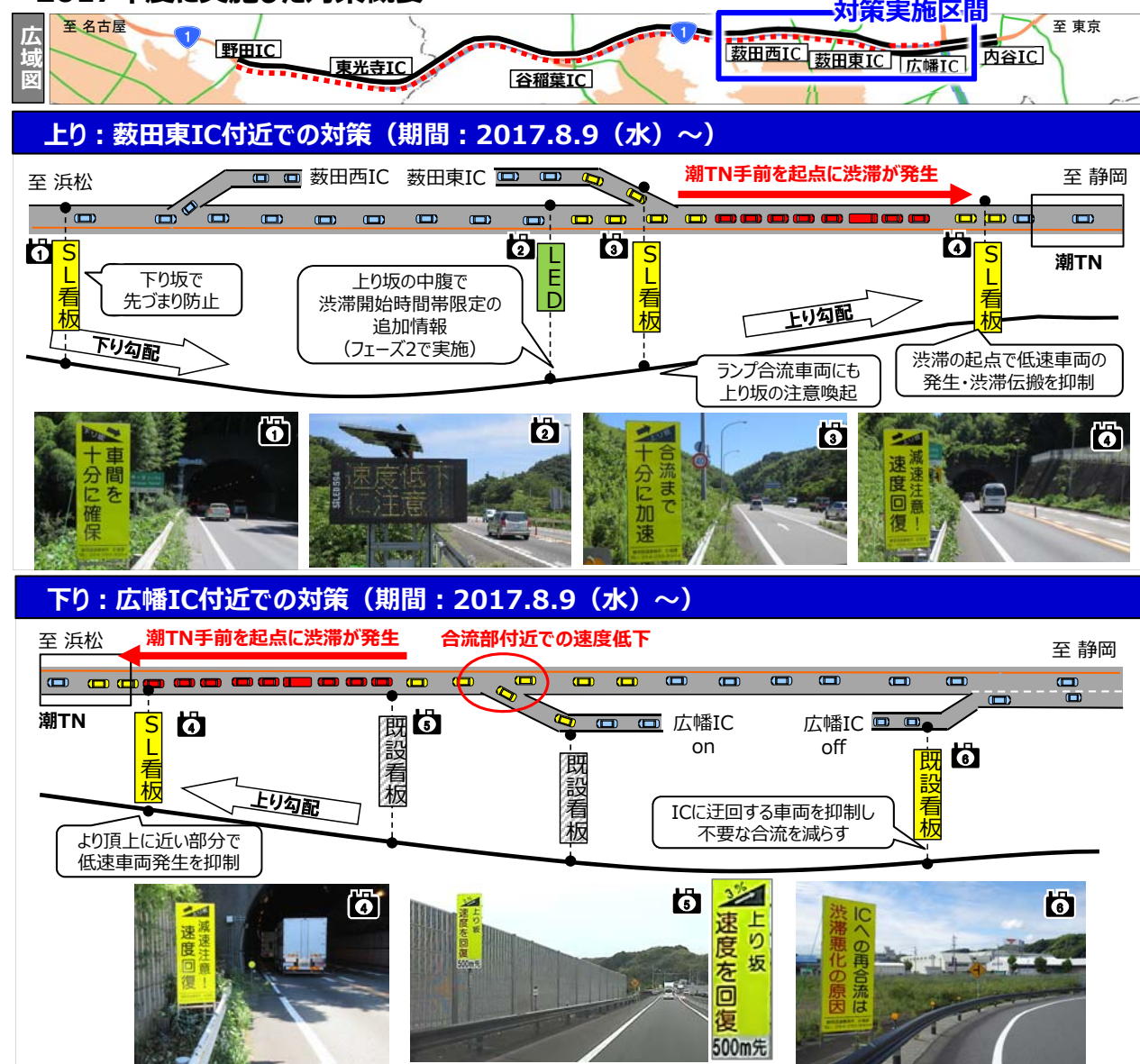
8/9（水）～ 設置継続中
・看板デザイン、設置位置の変更

LED表示板による追加対策 （フェーズ2）

8/28（月）～9/29（金）
・時間帯限定の情報提供実施

サグでの無意識な速度低下に関する施策・ICの適正利用を促す施策
実施継続中

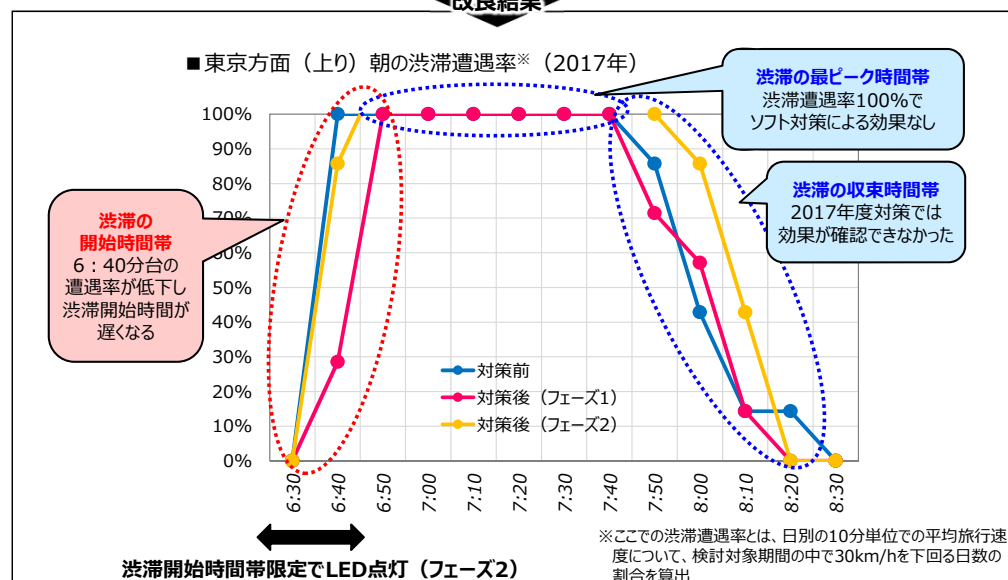
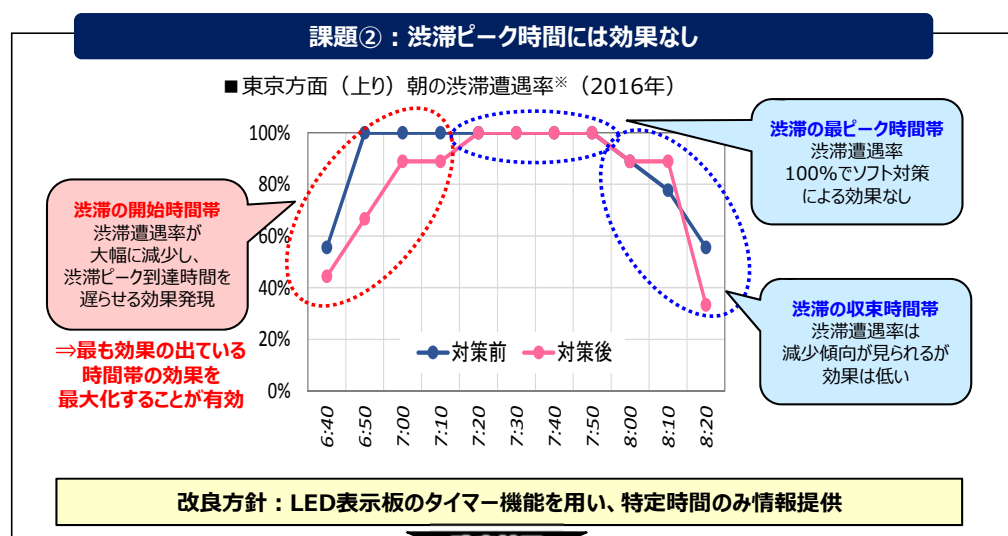
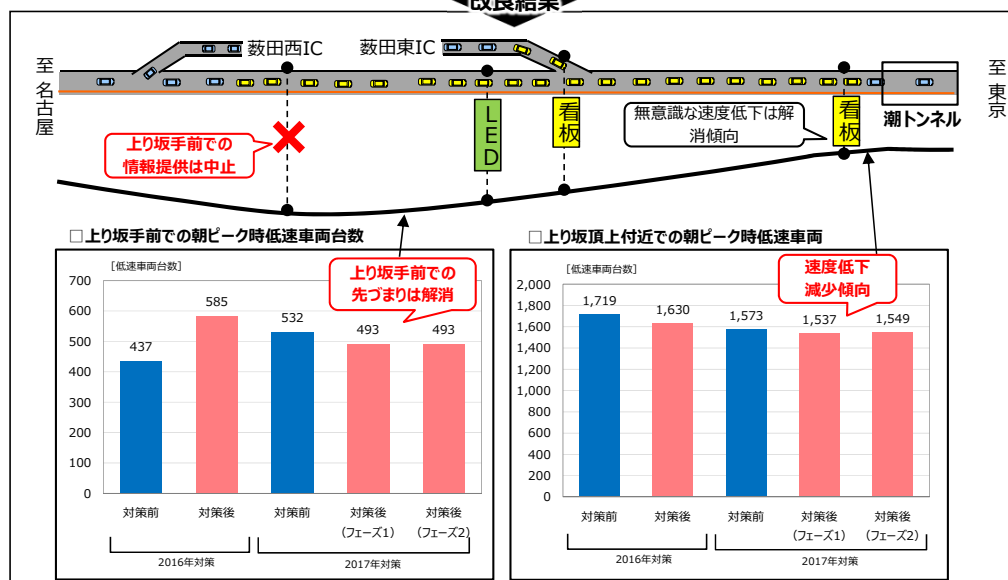
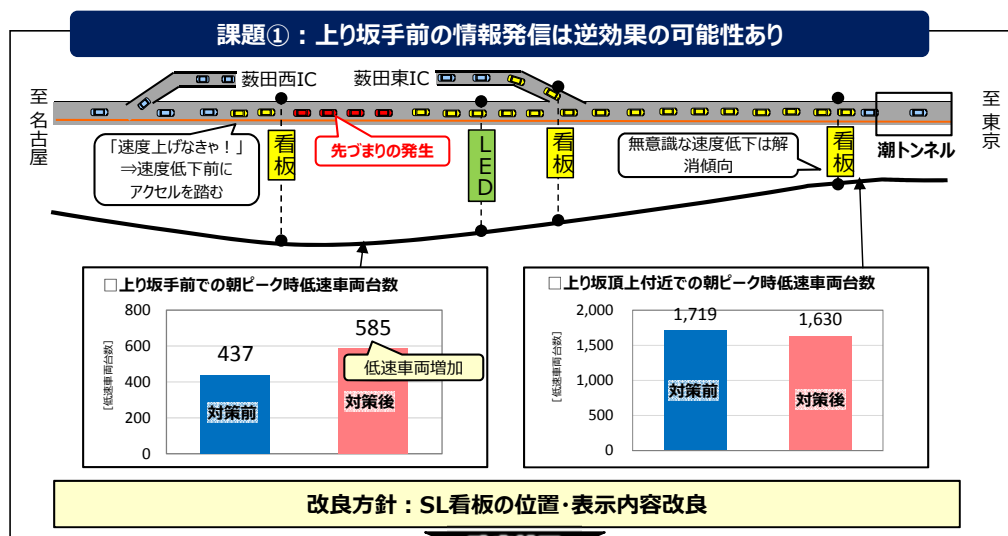
■ 2017年度に実施した対策概要



2. 実施した渋滞対策

2) 2016年度対策での課題と2017年度における改良結果

- 2016年度の対策において上り坂手前での情報発信は先詰まりの要因となり逆効果となった可能性があったため、S L 看板の設置位置を再検討したところ、2017年度の対策では上り坂手前での先詰まりは解消し、上り坂頂上付近では2016年度と同様に低速車両が減少している。
- また、2017年度は情報を提供する時間帯を特定のピーク時のみに限定したところ、渋滞の開始時間帯については渋滞遭遇率が低下し開始時間が遅くなったものの、収束時間帯においては効果が確認できなかった。
- 現在も、引き続きサグでの無意識な速度低下に関する施策(SL看板)を実施しており、今年度においても継続的なモニタリングを実施。



2. 実施した渋滞対策

(6) 情報提供による富士市～富士宮市間における交通案内誘導 (実施主体：国) <継続実施>

1) 対策実施内容

- 国道139号富士宮市街地区間においては、観光期には、富士山周辺来訪者の観光交通により、休日の夕方を中心に激しい渋滞が発生。
- 観光渋滞の緩和を目的に、紅葉シーズン限定の特設HPを開設し、『迂回ルート案内による空間分散』『混雑時間帯のワンモア観光案内による時間分散』施策を実施

《対策実施期間》

2017年10月28日(土)
～2017年11月26日(日)

※HP : 10/25に開設
※看板 : 台風の影響により10/31設置

《実施した対策と連携機関》

特設HP開設／SNS配信／チラシ・ポスター／案内看板設置

: 国土交通省 (静岡国道)

HP banners / SNS (リツイート含む) / チラシ・ポスター

: 国土交通省 (沼津河川国道・甲府河川国道)

HP banners / SNS (リツイート含む)

: 静岡県・富士宮市・富士市・富士河口湖町・鳴沢村・観光協会 (静岡県・富士宮市・富士河口湖町)

チラシ・ポスター

: 道の駅 (8箇所)・観光地・観光施設 (10箇所)・コンビニエンスストア (3箇所) 等

■ 迂回ルートと案内看板配置



【案内看板】
28枚設置



■ 各種媒体による渋滞対策PR (情報提供)

《特設HPによる情報提供》



周辺自治体・関係機関HP
にバナー設置



《Twitterによる情報提供》 (国・県・自治体・観光協会等)



「Twitter配信計画」を立案し、
毎週金曜日に静岡Twitterで配信
※Facebookでも配信



《チラシ配布・ポスター掲示》



11/3-5の3連休
富士宮市公式キャラクター
「さくやちゃん」を動員し、
チラシ配布・対策PRを実施

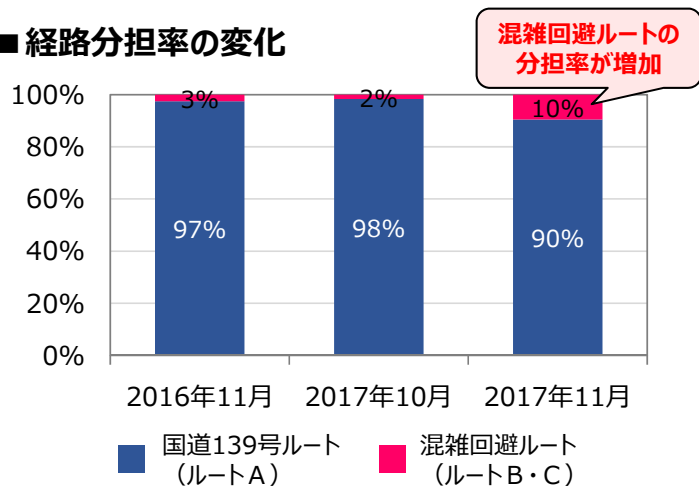
撮影年月日：2017年11月5日 (道の駅朝霧高原)

2. 実施した渋滞対策

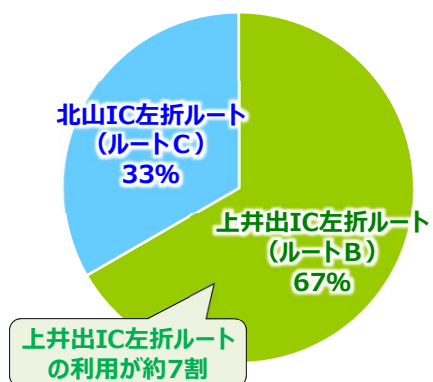
2) 対策効果

- 前年・前月と比べ混雑回避ルートへの分担率は約10%に増加しており、混雑回避ルートの約7割が上井出ICを左折するルート(ルートB)を経由。
- 所要時間について、最大で9分の短縮効果が見られた。
- ルートB・Cともに、夕方の混雑時間帯(15~17時台)の所要時間は、非混雑時間帯と比べて大きな所要時間の増加は生じていない。

■ 経路分担率の変化

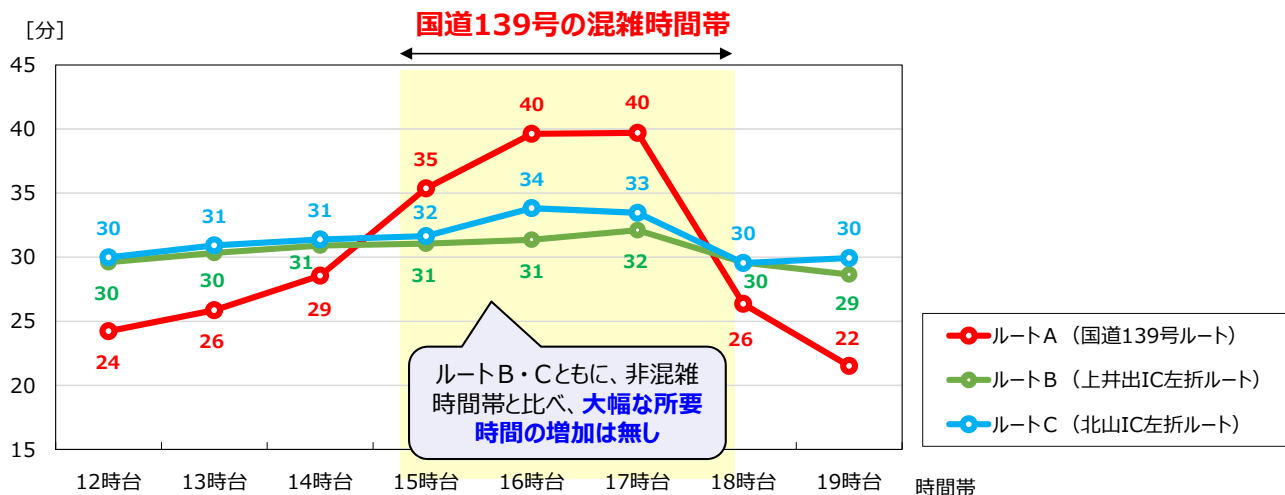


【混雑回避ルートの経路分担率】



資料：ETC2.0データ (2017.10-11)

■ ルート別所要時間



資料：ETC2.0旅行速度データ (各年11月休日平均)

■ 計測箇所およびルート



2. 実施した渋滞対策

(7) 愛鷹スマートIC・駿河湾沼津スマートICの開通による国道1号の混雑対策 (実施主体：沼津市)

- 沼津市内2箇所のスマートIC開通により、東京方面への交通のうち、約27%の交通がスマートICを利用。
- 今後、国道1号の誘導看板などの設置により、スマートICの利用台数を増加させ、国道1号の渋滞緩和を図る。

■位置図



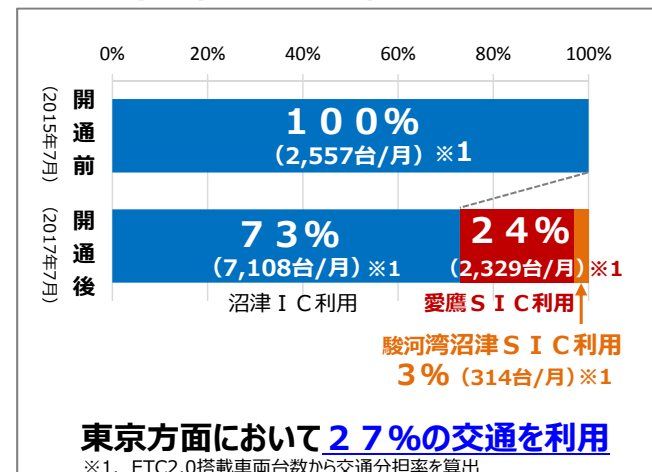
【検証方法】

沼津市内2箇所のスマートIC開通前後(2015⇔2017)における各ICの利用状況について、東京方面に行き来するETC2.0搭載車両の動きで分析。

【沼津ICの利用エリア(2015年7月(平日))



■スマートIC開通前後の利用IC変化

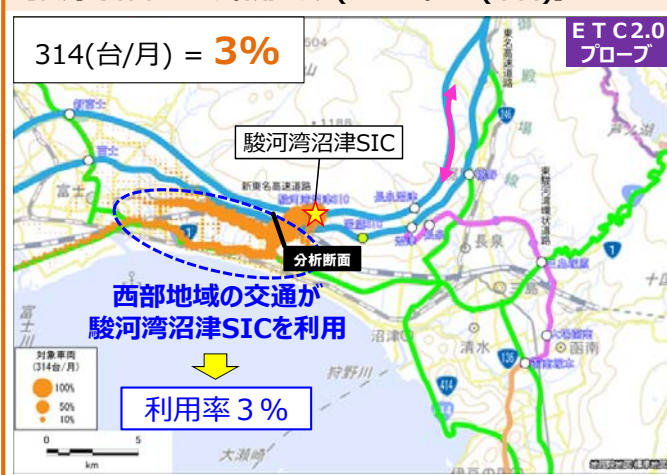


駿河湾沼津SIC 3%

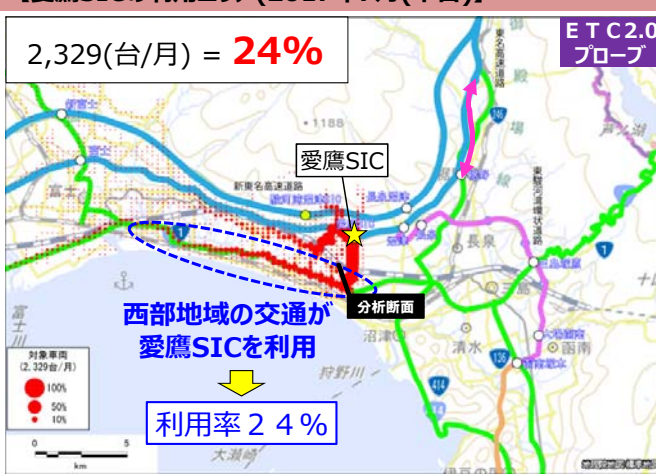
24% 愛鷹SIC

73% 沼津IC

【駿河湾沼津SICの利用エリア(2017年7月(平日))



【愛鷹SICの利用エリア(2017年7月(平日))



【沼津ICの利用エリア(2017年7月(平日))



※ETC2.0プローブ情報は全て平日のみで集計

出典：ETC2.0プローブ情報

2. 実施した渋滞対策

(7) 愛鷹スマートIC・駿河湾沼津スマートICの開通による国道1号の混雑対策（実施主体：沼津市）

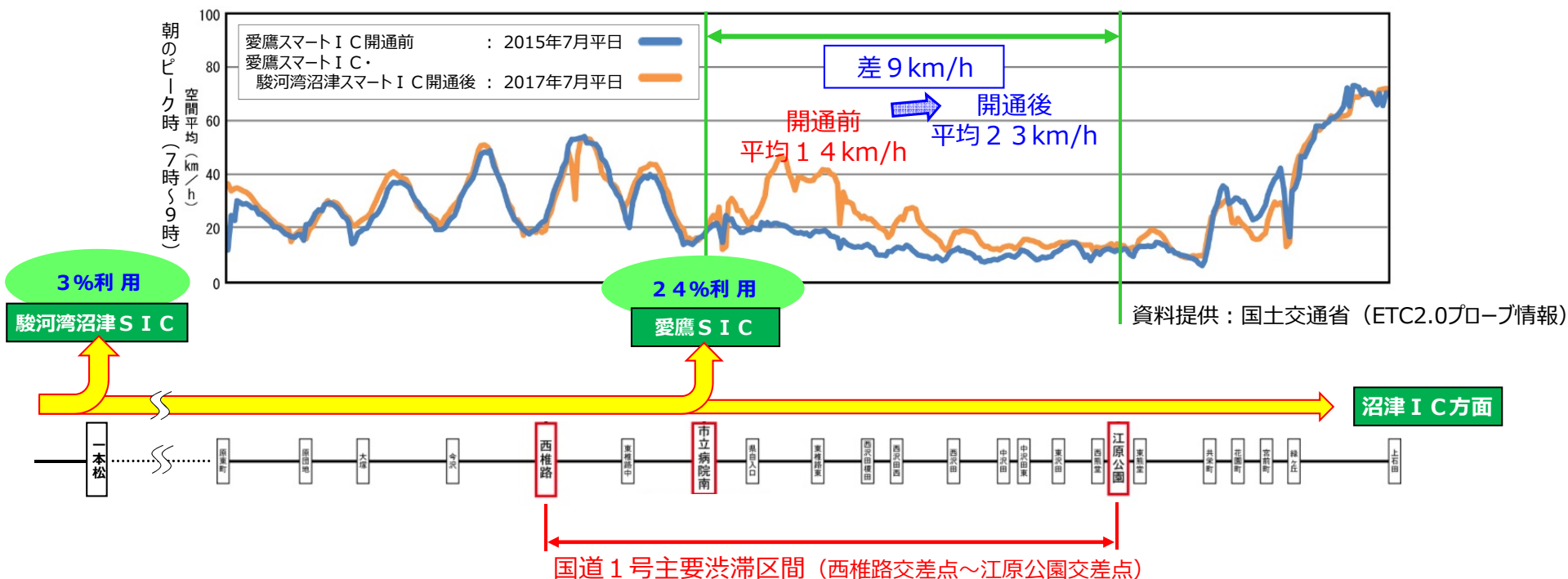
○沼津市内2箇所のスマートIC開通により、国道1号（主要渋滞区間（市立病院南交差点～江原公園交差点））の東京方面において、朝のピーク時（7時～9時）で一部区間の走行速度が9 km/h改善。

【検証結果】

○国道1号東京方面で、朝ピーク（7時～9時）の時間帯に着目し速度を分析

市立病院南交差点～江原公園交差点間における**速度約9 km/hの改善**を確認

【沼津市内2箇所のスマートIC開通による空間平均速度の変化（国道1号:東京方面）】



○国道1号東京方面で、夕ピーク（17時～19時）の時間帯に着目し速度を分析

市立病院南交差点～江原公園交差点間において**速度変化は確認できなかった**

※原因として、交通が2箇所のスマートICを利用したことにより、走りやすくなった国道1号へ新たな交通が流れ込み、結果として交通量が増加したことにより速度改善に繋がらなかったと考えられる。

2. 実施した渋滞対策

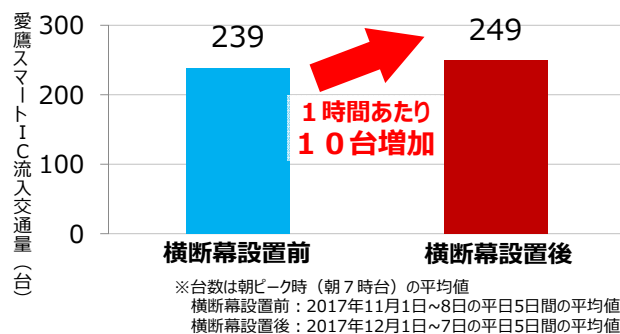
(8) 愛鷹スマートIC誘導案内横断幕 (実施主体：国)

- 国道1号上り線に横断幕を2箇所設置し、沼津ICから東京方面に向かう車両に愛鷹スマートICの利用を促進。
- 愛鷹SICの利用を促進することで朝ピーク時の愛鷹SIC流入交通量が増加し、市立病院南交差点以东の旅行速度が向上。

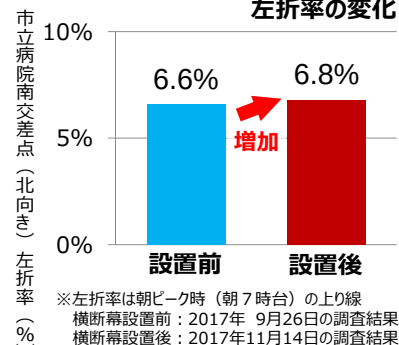
■横断幕設置箇所



■朝ピーク時(朝7時台)の愛鷹スマートIC流入交通量の変化



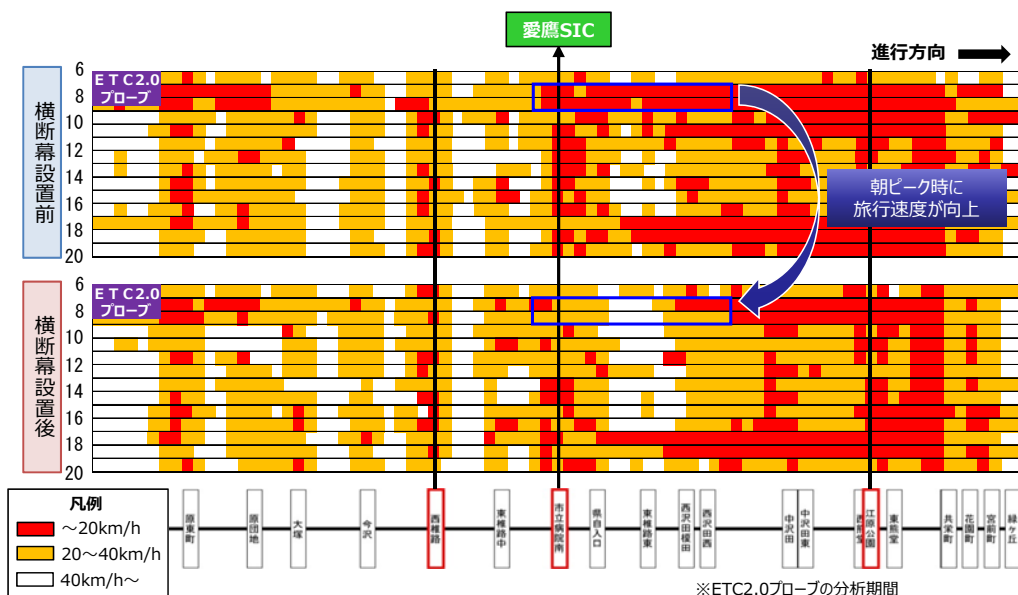
■市立病院南交差点(北向き)左折率の変化



■国道1号の速度変化

愛鷹スマートICを利用可能な残需要に対して横断幕を用いて案内を行った結果、市立病院南交差点直近で旅行速度の改善が確認された。

国道1号(東京方面)横断幕設置前後の速度階級図時点比較



※ETC2.0プローブの分析期間
設置前：2017.11.1～11.8のうち平日5日間
設置後：2017.12.1～12.5の平日5日間

2. 実施した渋滞対策

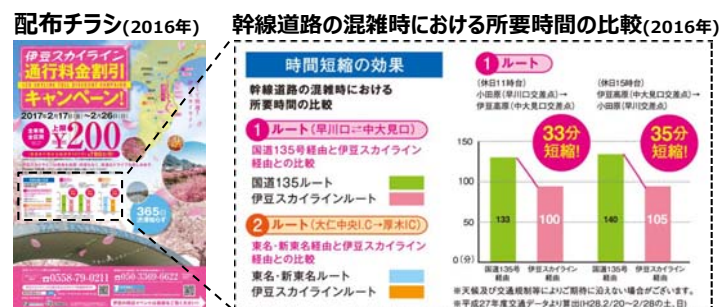
(9) 河津桜まつり期間中における時間・経路分散策 (実施主体：伊豆道の駅ネットワーク協議会、静岡県道路公社)

- 2014年度～2016年度まで、河津桜まつり期間中の10日間限定で伊豆スカイラインの通行料金（980円）が上限200円となる割引キャンペーンを実施。料金割引のチラシを配布し、伊豆スカイラインの利用を呼びかけた。
- 2016年度からは、国道135号・136号から伊豆スカイラインへの迂回を呼びかける看板を各分岐点の南側に設置。さらに民間ルート検索サイトにおいて、伊豆スカイラインの料金割引の告知バナーを設定。対策効果として、国道135号主要渋滞箇所である中央町付近でピーク時に所要時間が最大6分短縮。
- 2017年度からは、料金割引期間を河津桜まつり期間中の30日に延長し、伊豆スカイラインの通行料金を最大3割引にするキャンペーンを実施。

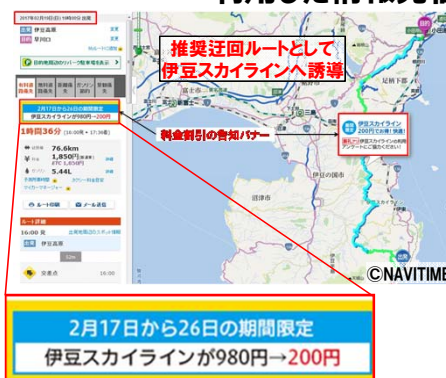
■ 看板位置図



■ 配付チラシと混雑時における所要時間の比較

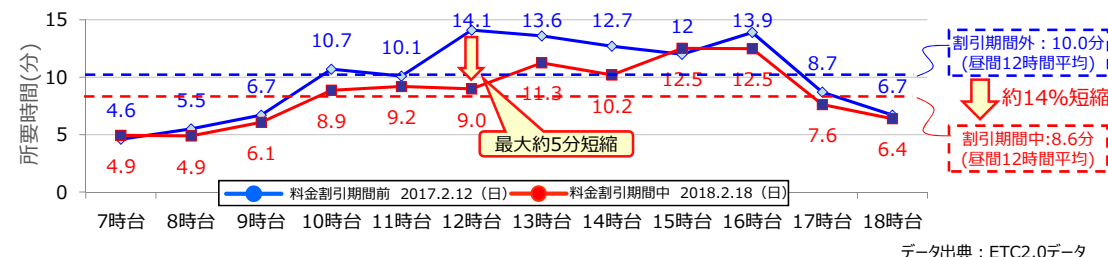


■ 民間ルート検索サイトを 利用した情報発信

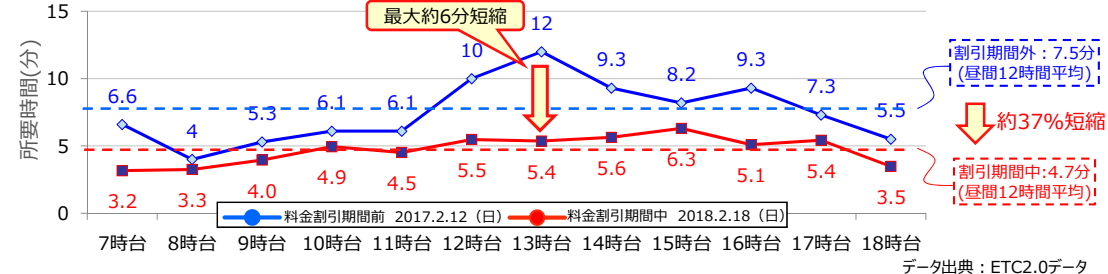


■ 主要渋滞箇所付近の北行き所要時間の変化

<国道135号 殿山・水無田交差点付近(約3km区間)>



<国道135号 中央町交差点付近(約1.3km区間)>



(9) 河津桜まつり期間中における時間・経路分散策 (実施主体：伊豆道の駅ネットワーク協議会、静岡県道路公社)

- 混雑の激しい河津桜まつり期間中に伊豆半島の8つの道の駅に案内チラシを設置し、時間分散・経路分散を促す取り組みを実施。
- 伊豆スカイラインの主要な区間で通行料金割引キャンペーン（静岡県道路公社）を案内し経路分散を促進。
- 各道の駅ごとに出発時間ごとの所要時間や夜景スポット・周辺の観光施設を案内し時間分散を促進。

駿

伊豆

伊豆の国

道の駅 伊豆ゲートウェイ函南

道の駅 伊豆のほと

道の駅 くるら戸田

伊豆

道の駅 伊東マリンタウン

天城山

道の駅 天城越え

天城山

道の駅 花の三聖苑伊豆松崎

西伊豆

松崎

河津桜まつり会場

道の駅 開国下田みなと

道の駅 下賀茂温泉 湯の花

石廊崎

地図データ © 国土地理院 10 km

アクセス数（件／日）

【通常の休日平均】
32.4件/日

【チラシ配布時の平均】
504.1件/日

2016年沼津・三島版公開時

2018年河津さくらまつり期間チラシ配布時

[illegible]





道の駅 関国田下田みなとからお帰りの方へ

東駿河湾環状道路・国道135号は 「混雑待ち入り開催期間中」に混雑が予想されます

混雑を回避して、快適に帰るには…

その① 混雑する区間を回避！

 信号なしで夜最も綺麗な
伊豆スカイラインルート

伊豆スカイラインでは平成30年2月10日から
3月11日まで通行料金が主要な区間で**3割引下**
になる**通行料引キキャンペーン**を実施中！

※伊豆スカイライン全線または伊豆半島内一帯の区間、伊豆半島内へ向かう区間の一部へは適用が不可となります。

伊豆スカイラインの綺麗な夜景情報は裏面をチェック！ ➡

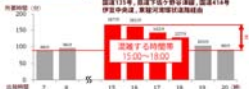


その② 混雑する時間帯を回避！

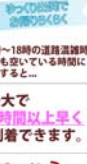
 オススメの発着時刻 **18時以降に出発**

東京・名古屋方面 → 沼津方面

沼津13時、沼津夕方など混雑、沼津14時以降混雑、沼津15時以降混雑



道の駅関国田下田が詰まるまでゆっくりできるスポットは裏面をチェック！ ➡



15時～18時の道路混雑時よりも空いて帰る時間帯に出発すると…

**最大で
1時間以上早く
到着できます。**

その③ その他の時間帯の 所要時間や混雑情報は

 **伊豆地域の混雑情報Q** で確認

※伊豆・三島・富士山方面・伊豆半島内各主要区間の所要時間（1人1台）※混雑時、所要時間は1.5倍

※伊豆スカイライン全線または伊豆半島内一帯の区間、伊豆半島内へ向かう区間の一部へは適用が不可となります。



[illegible]

2. 実施した渋滞対策

(10) 三島スカイウォーク渋滞対策（年末年始）

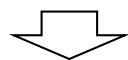
（実施主体：施設管理者・三島市）

- 大型連休（年末年始）には営業時間を拡大し時間分散を実施。また、周辺に臨時駐車場を整備し、混雑時は誘導を実施。
- HPにおいて各方面からのアクセスルートを紹介することで、スムーズなアクセスを促す取り組みを実施。
- 上り箱根方面は三島スカイウォークを先頭に速度低下が発生していたが、2016年-2017年と比較し大幅に改善。

<渋滞対策>

■営業時間延長による時間分散

通常：9:00～17:00



年始：8:00～18:00
（参考）GW・お盆期間 8:00～21:00

2018年 1月2日、3日の2日間
《前後一時間延長》

■臨時駐車場の整備

- ・空きスペースの案内（誘導員の配置）
- ・混雑時の出庫制限（右折出庫禁止）

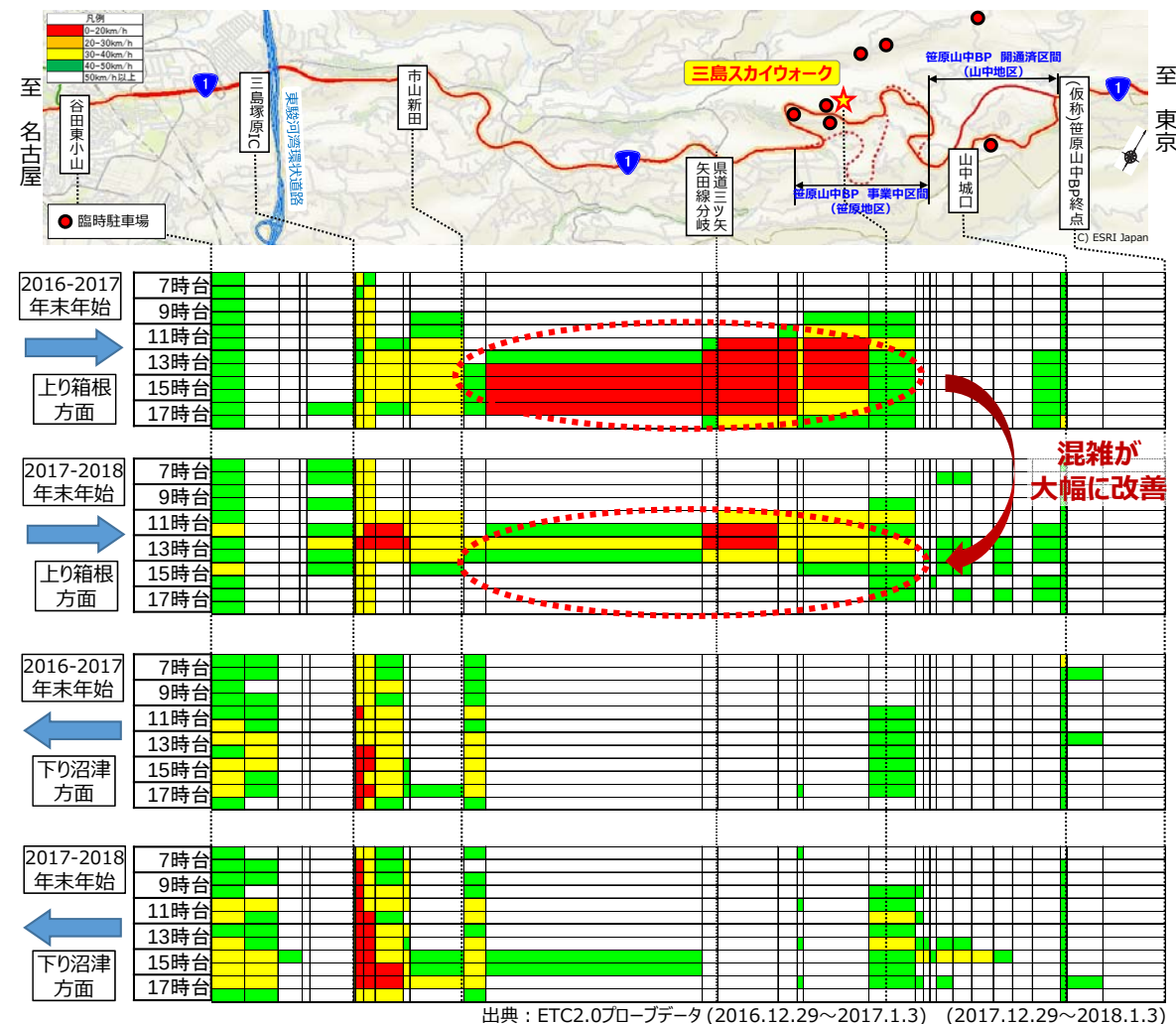
■HPにおいて各方面からのアクセスルートの紹介

- ・東京
- ・名古屋・浜松
- ・その他伊豆周辺（三島、沼津、箱根、中伊豆、熱海、山梨・御殿場）

【URL】：<http://mishima-skywalk.jp/access.html>



<速度状況>



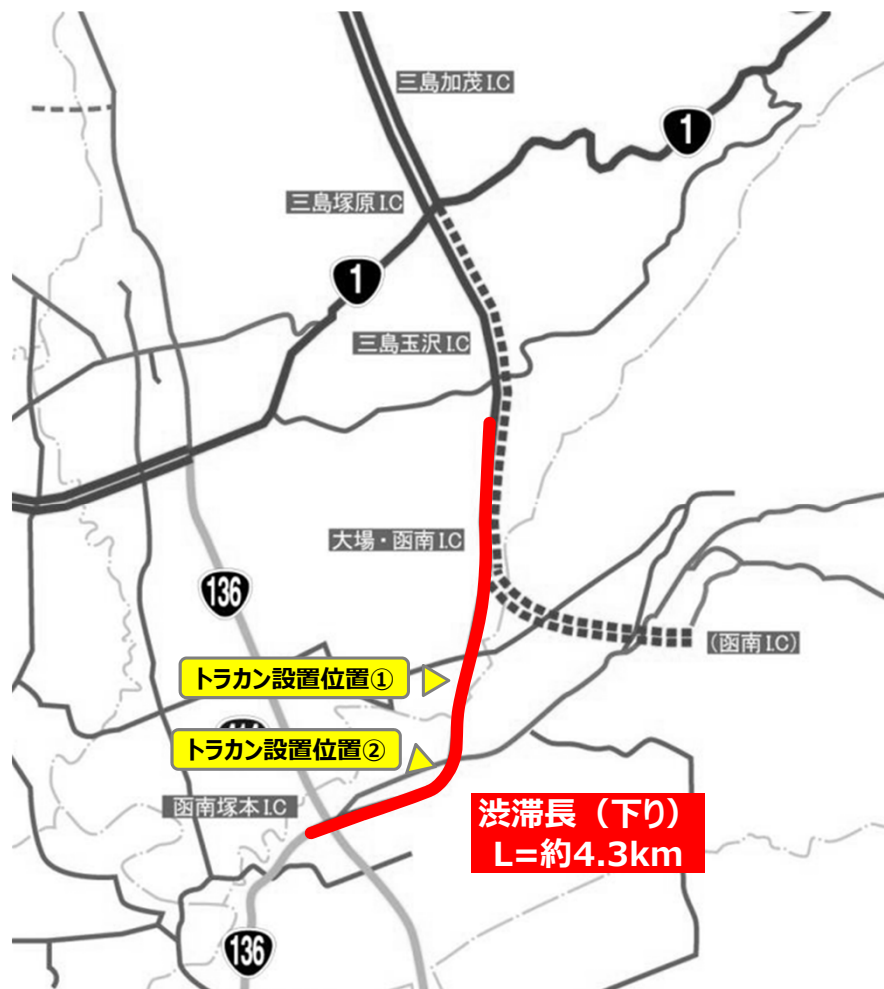
出典：ETC2.0プローブデータ（2016.12.29～2017.1.3）（2017.12.29～2018.1.3）

2. 実施した渋滞対策

(1 1) 東駿河湾環状道路への県警トラカン（VICS）の設置（実施主体：静岡県警）

- 東駿河湾環状道路の函南町大場（設置位置①）、函南町土肥（設置位置②）に渋滞情報収集用の感知器（VICS）を2018年2月に設置。
- 対応カーナビ等へ情報提供することで混雑時に経路分散を図り、混雑緩和を図る。
- 今後、周辺の交通状況を面的に把握。

■ 渋滞情報収容用の感知器設置位置



※渋滞状況は 2017年5月3日（水） 函南塚本IC付近 17時50分ごろに観測

■ VICS情報の提供例

VICS車載器（カーナビ等）への情報提供

	FM多重放送情報	ビーコン（電波・光）情報
地図表示	VICS-FM波が届くエリアでさえあれば表示	VICS-FM波の難受信エリアでも受信可能
文字表示	VICSみやぎ (01/09) 08:35 国道48号下り 車線規制 作並→本町3丁目 メニューで知りたい情報を選択 東名 下り 事故 東名川崎IC→東京IC 車線規制 メニューで知りたい情報を選択	新宿通り上り 四谷見附付近 渋滞0.5KM 自車位置をもとに進行方向の情報がわかる 御殿場→裾野 事故渋滞 5km 自車位置をもとに進行方向の情報がわかる

引用：VICS情報サイト (<http://www.vics.or.jp/know/structure/example.html>)

県警情報板への情報提供



インターネットによる情報提供(JARTICホームページ)



3. 今年度の主な取り組み

3. 今年度の主な取り組み

3-1 エリア毎の検討・取組み内容

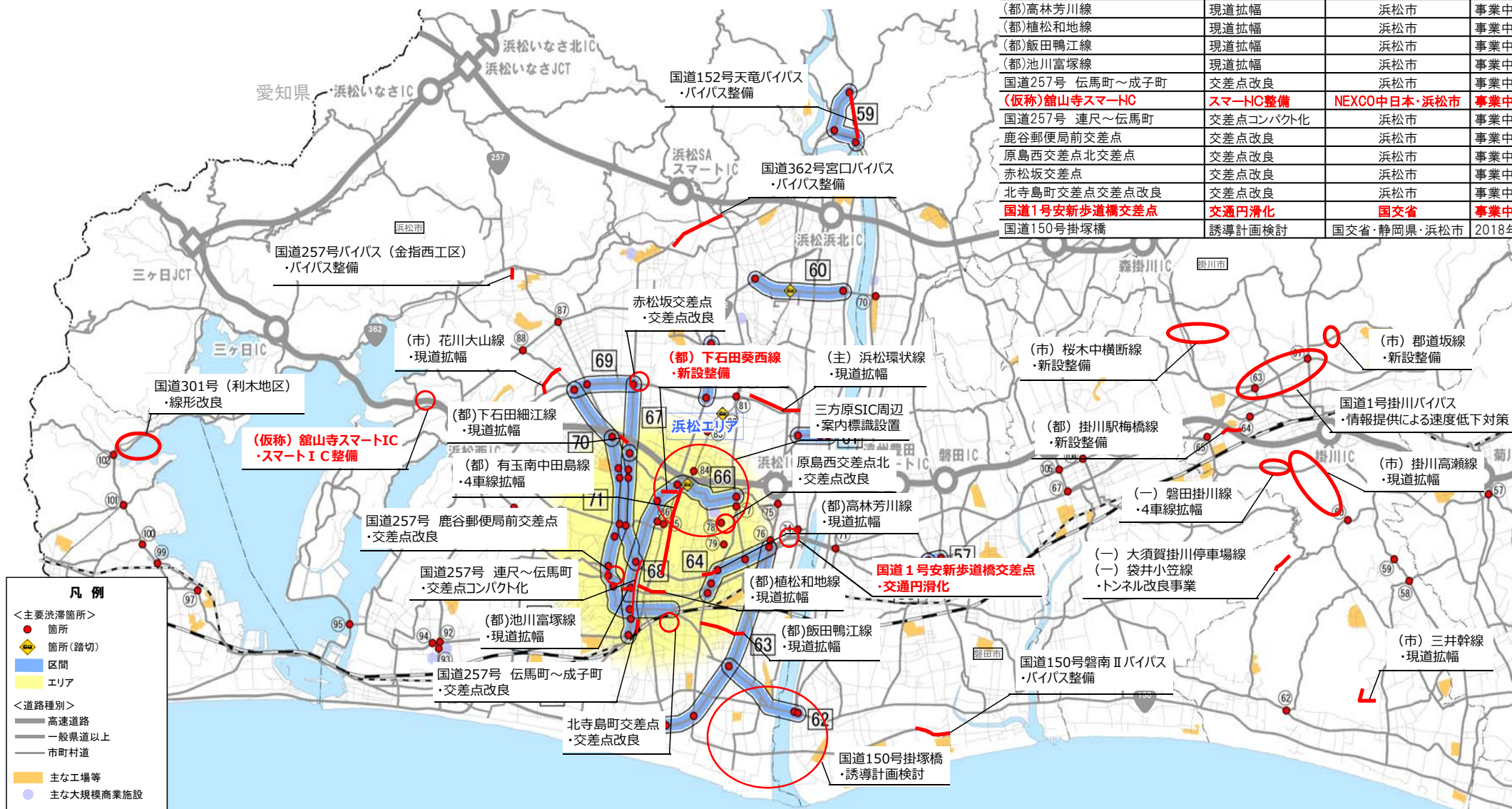
◆ 浜松エリア、中東遠地区

■ 中東遠地区で進める取り組み

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
(都)掛川駅梅橋線	新設整備	掛川市	事業中
(市)桜木中横断線	新設整備	掛川市	事業中
(市)郡道坂線	新設整備	掛川市	事業中
(一)磐田掛川線	4車線拡幅	静岡県	事業中
(市)掛川高瀬線	現道拡幅	掛川市	事業中
(市)三井幹線	現道拡幅	掛川市	事業中
国道1号掛川バイパス	情報提供による速度低下対策	国交省	2018年検討
(一)大須賀掛川停車場線	トンネル改良事業	静岡県	事業中
(一)袋井小笠線			

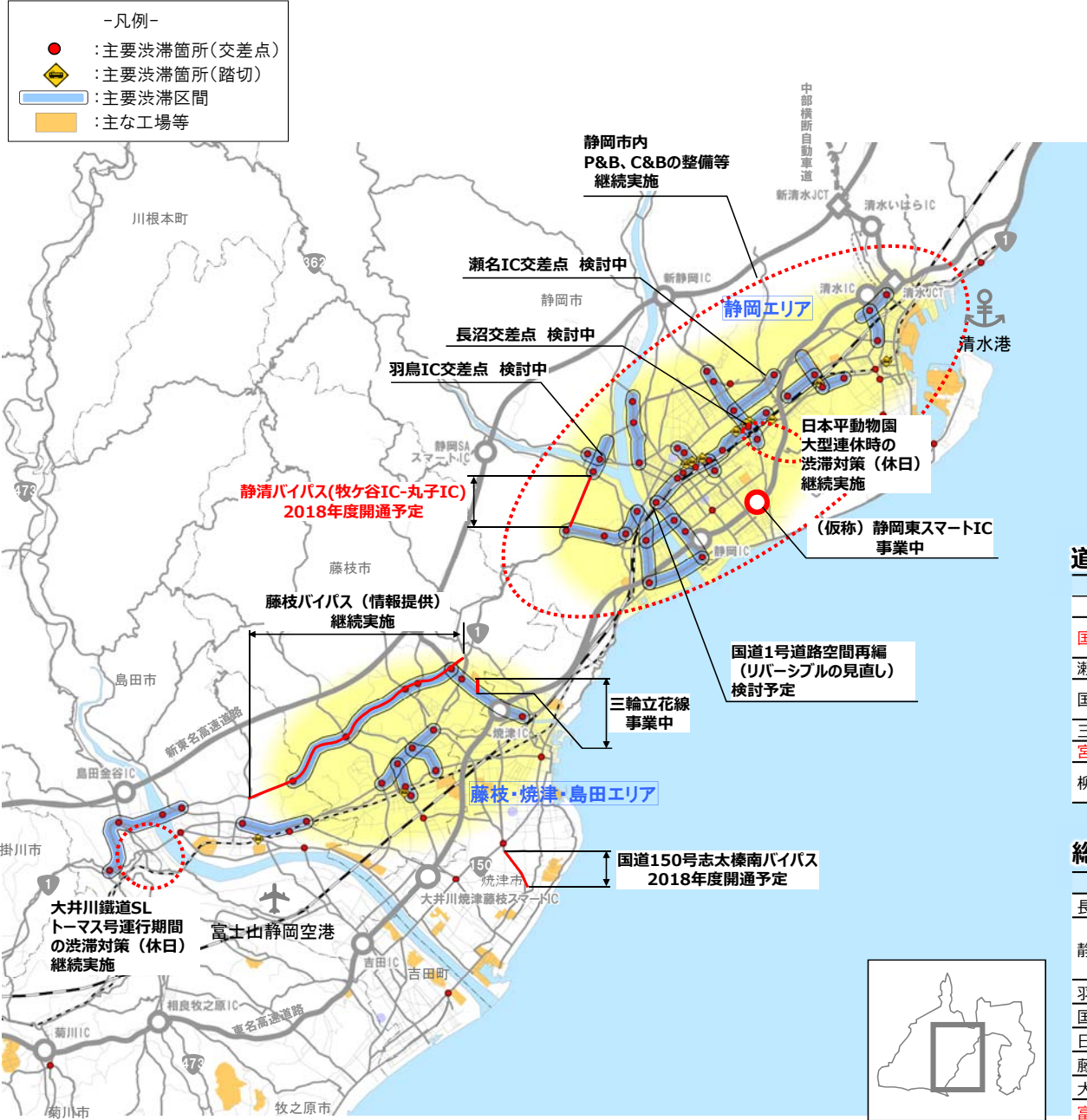
■ 浜松エリアで進める取り組み

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
国道152号天竜バイパス	バイパス整備	浜松市	事業中
国道362号宮口バイパス	バイパス整備	浜松市	事業中
国道257号バイパス(金指西工区)	バイパス整備	浜松市	事業中
(都)下石田葵西線	新設整備	浜松市	事業中
国道150号磐南Ⅱバイパス	バイパス整備	静岡県	事業中
国道301号(利木地区)	線形改良	静岡県	事業中
(都)有玉南中田島線	4車線拡幅	浜松市	事業中
(市)花川大山線	現道拡幅	浜松市	事業中
(主)浜松環状線	現道拡幅	浜松市	事業中
国道257号 下馬町～成子町	現道拡幅	浜松市	事業中
(都)高林芳川線	現道拡幅	浜松市	事業中
(都)植松和地線	現道拡幅	浜松市	事業中
(都)飯田鴨江線	現道拡幅	浜松市	事業中
(都)池川富塚線	現道拡幅	浜松市	事業中
国道257号 伝馬町～成子町	交差点改良	浜松市	事業中
(仮称)館山スマートIC	スマートIC整備	NEXCO中日本・浜松市	事業中
国道257号 連尺～伝馬町	交差点コンパクト化	浜松市	事業中
鹿谷郵便局前交差点	交差点改良	浜松市	事業中
原島西交差点北交差点	交差点改良	浜松市	事業中
赤松坂交差点	交差点改良	浜松市	事業中
北寺島町交差点交差点改良	交差点改良	浜松市	事業中
国道1号安新歩道橋交差点	交通円滑化	国交省	事業中
国道150号掛塚橋	誘導計画検討	国交省・静岡県・浜松市	2018年検討



3. 今年度の主な取り組み

◆ 静岡エリア、藤枝・焼津・島田エリア



◆ 富士エリア、富士宮地区



道路整備等

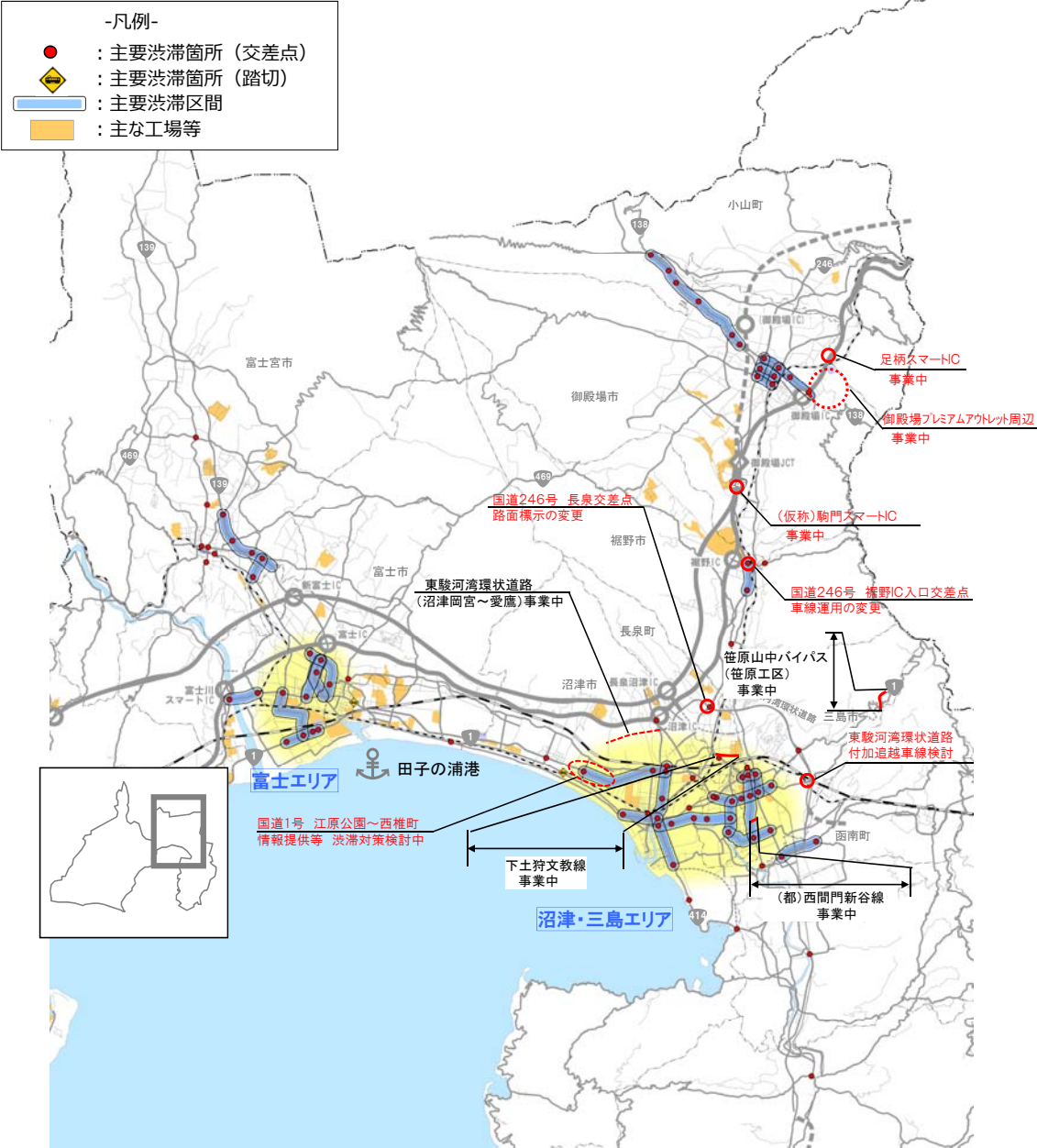
箇所	実施施策	実施主体	検討状況
(仮称) 静岡東スマートIC	・スマートIC整備	NEXCO中日本、静岡市	事業中
国道1号静岡バイパス	・拡幅	国	2018年度 開通予定
瀬名IC交差点	・交差点改良	国	検討中
国道150号志太榛南バイパス	・新規路線	静岡県	2018年度 開通予定
三輪立花線	・新規路線	藤枝市	事業中
宮島東交差点	・交差点改良	国	着工予定
柳島広町8号線	・新規路線	富士市	2018年度 開通予定

総合対策等

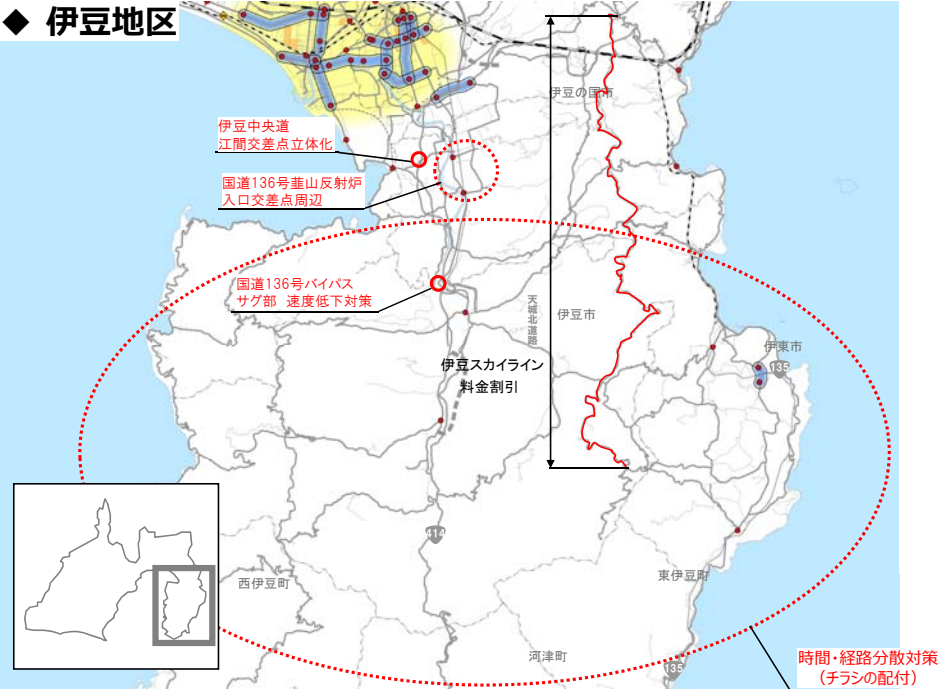
箇所	実施施策	実施主体	検討状況
長沼交差点	・交通マネジメント等	国・静岡市	検討中
静岡市内	・郊外部バスターミナル整備事業 パーク&バスライド・サイクル &バスライド駐車場の整備	静岡市	継続実施
羽鳥IC交差点	・交差点運用	国・静岡市	検討中
国道1号リバーシブルレーン見直し	・道路空間再編	国	検討中
日本平動物園周辺	・交通マネジメント	静岡市	継続実施
藤枝バイパス	・情報提供	国	継続実施
大井川鐵道周辺(休日)	・交通マネジメント	島田市	継続実施
富士市~富士宮市間	・交通案内誘導	国、富士市等	検討中
富士山周辺	・交通マネジメント	国、静岡県、観光施設等	継続実施

3. 今年度の主な取り組み

◆ 沼津・三島エリア、御殿場地区、裾野地区



◆ 伊豆地区



道路整備等

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
東駿河湾環状道路 沼津岡宮～愛鷹	新規路線整備	国交省	検討中
笹原山中バイパス	新規路線整備	国交省	事業中
東駿河湾環状道路 三島玉沢～大場・函南	付加追越車線設置	国交省	検討中
(都)下土狩文教線	拡幅	三島市	事業中
(都)西間門新谷線	拡幅	清水町	事業中
伊豆中央道 江間交差点	交差点立体化	静岡県、県道路公社	事業中
須走道路・御殿場バイパス(西区間)	新規路線整備	国交省	事業中
足柄スマートIC	スマートIC設置	小山町	事業中
(仮称)駒門スマートIC	スマートIC設置	御殿場市	事業中

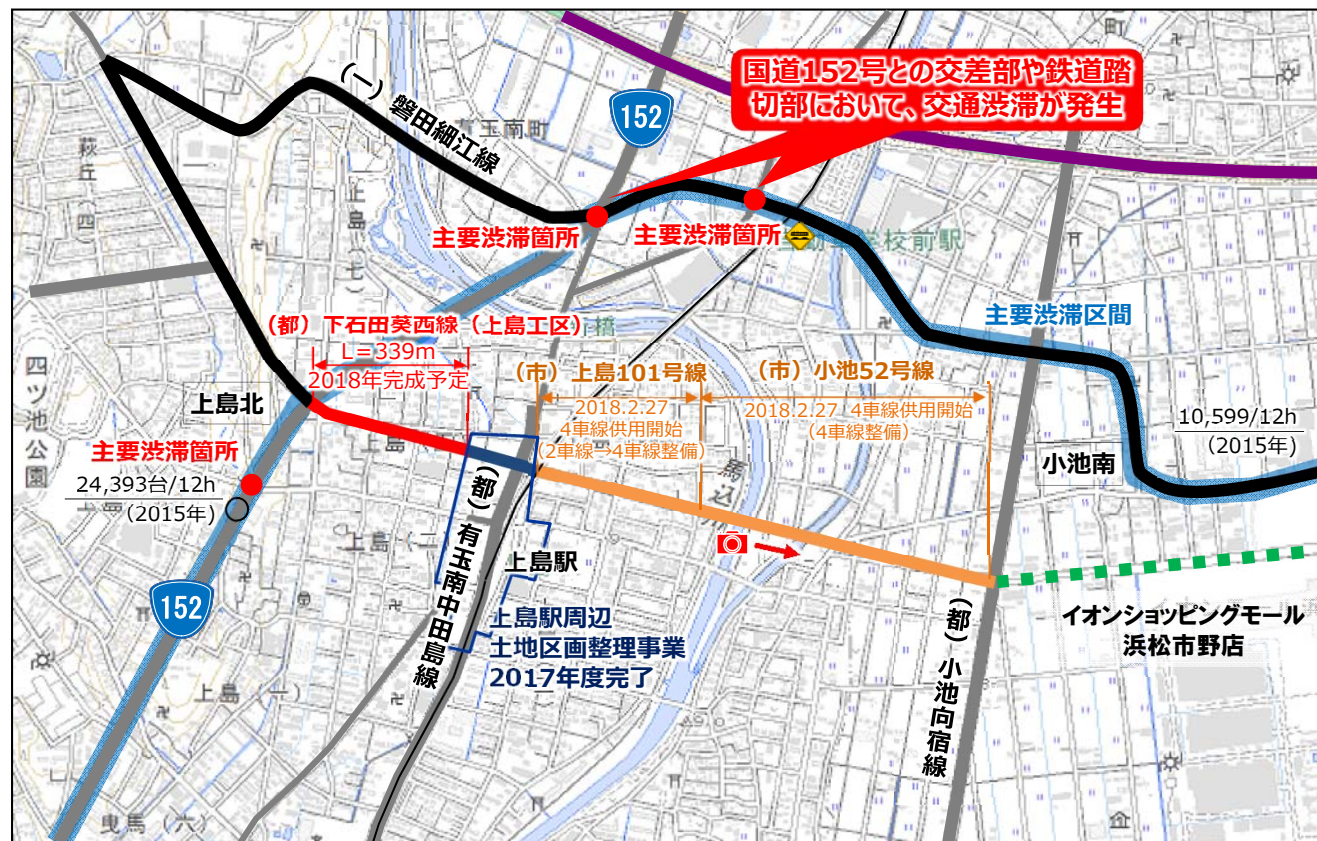
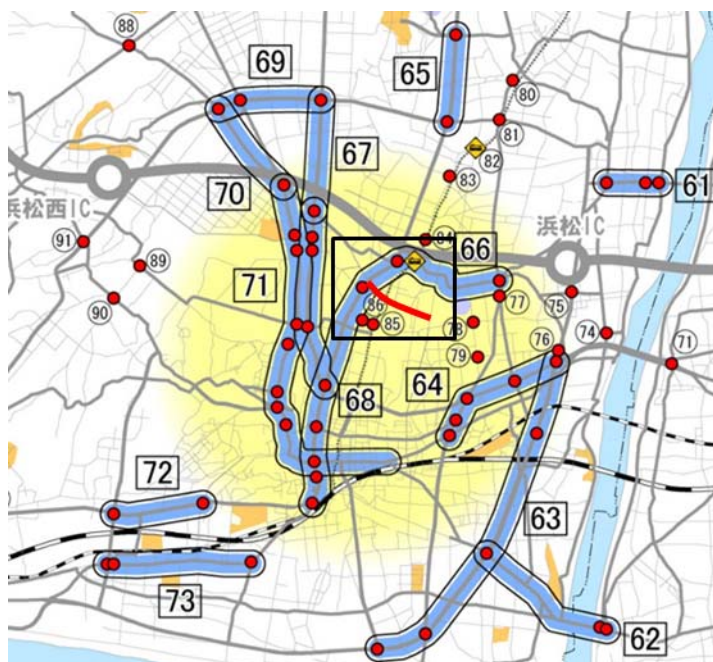
総合対策等

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
国道1号 江原公園交差点～西椎町交差点間	愛鷹スマートICへの迂回誘導・案内	国交省	検討中
国道246号 長泉交差点	路面標示の変更	国交省	検討中
国道246号 裾野IC入口交差点	車線運用の変更	国交省	検討中
東駿河湾環状道路	時間・経路分散対策(チャランの配付)	国交省	検討中
国道136号バイパス	サグ部 速度低下対策	静岡県	検討中
伊豆スカイライン	河津桜まつり開催期間中の料金割引	静岡県、県道路公社	検討中
国道136号韭山反射炉入口交差点周辺	経路分散による渋滞対策	静岡県、伊豆の国市	事業中
御殿場プレミアムアウトレット周辺	事業者負担による渋滞対策	三菱地所・サイモン(株) (御殿場プレミアムアウトレット、 御殿場市)	事業中

3. 今年度の主な取り組み

(1) (都) 下石田葵西線(上島工区) 整備事業について(実施主体: 浜松市) <整備中>

- (一) 磐田細江線では、浜松市の幹線放射軸である国道152号との交差部や鉄道踏切部において、交通渋滞が発生。
- 都市計画道路下石田葵西線(上島工区)は2011年度より事業化され、整備が進められている。
- (都) 下石田葵西線の整備に併せ、(市) 上島101号線、(市) 小池52号線が2018年2月に4車線供用し、2018年度には、(国) 152号～(都) 有玉南中田島線の区間が開通する予定。
- 当該区間の整備により、並行する(一) 磐田細江線の渋滞解消に寄与するだけでなく、環状機能による交通の整流化や南北道路との連携による交通の分散化が図られ、周辺の主要渋滞箇所の渋滞緩和・浜松市街地部の渋滞解消に寄与すると考えられる。

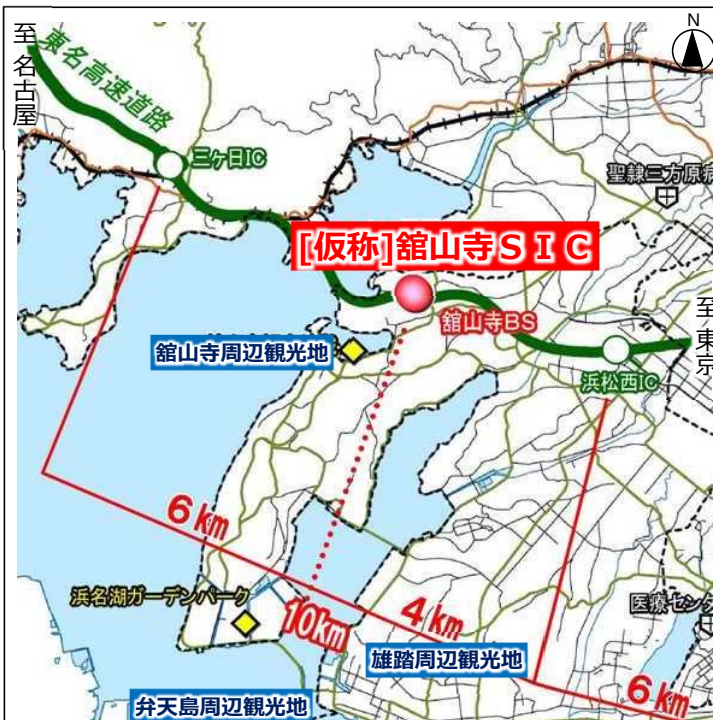


3. 今年度の主な取り組み

(2) (仮称) 館山寺スマートIC (実施主体：浜松市) <整備中(2018年度開通予定)>

- 2019年3月に東名高速道路(仮称) 館山寺スマートICが開通予定。
- (仮称) 館山寺スマートICの開通により、“交通混雑の緩和・改善”・“地域の活性化(観光振興)”・“地域の活性化(地域振興)”・“防災機能の強化”が期待される。

■ 位置図



■ [仮称] 館山寺スマートICに期待される効果

<<交通混雑の緩和・改善 ～高速道路からの観光交通の分散～>>

- 現状では、館山寺や雄踏、弁天島の観光地への高速アクセスは、浜松西ICに集中しているため、観光地へのアクセスが集中し周辺道路の混雑を助長しているが、スマートICの整備により、**観光交通が利用するICが分散し、周辺道路の混雑緩和が期待**。

<<地域の活性化(観光振興)>>

～観光拠点へのアクセス性向上による観光客の増加への寄与～

- (仮称) 館山寺スマートICの整備により、観光交通の利用ICの分散による**周辺道路の混雑緩和**や高速道路へのアクセス性向上による**観光拠点までのアクセス時間の短縮**が図られ、豊富な観光資源を活かした浜名湖周辺の周遊観光の魅力が向上し、観光客の増加への寄与が期待。

<<地域の活性化(地域振興) ～物流効率化による地域産業の発展～>>

- スマートICの整備は、工業製品や生産物の出荷時の**京阪神方面への輸送時間を短縮**するとともに、浜松西ICとの併用による**高速道路の利便性向上**に寄与。
- 企業の輸送コスト削減や、品質の高い農産物の出荷などにより、地域産業の活性化が期待。

<<防災機能の強化 ～大規模災害時の救急・救援・支援活動の迅速化～>>

- (仮称) 館山寺スマートICの整備により、東名高速道路から避難所までの緊急輸送道路のアクセス距離の短縮やリダンダンシーが強化され、津波による浸水被害にも影響を受けないルートが確保されることから、**庄内半島への迅速な救援・救助や復旧活動への効果**が期待。

<<整備効果例：高速道路⇒観光拠点のアクセス性向上>>



※2010年全国道路・街路交通情勢調査、2012年5月調査時の渋滞通過時間

<<整備効果例：避難所⇒高速ICのアクセス性向上>>

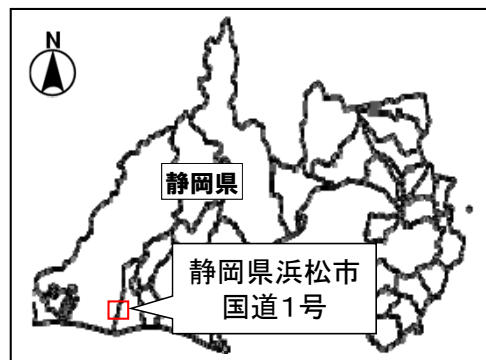


3. 今年度の主な取り組み

(3) 安新歩道橋交差点交通円滑化事業 (実施主体：国)

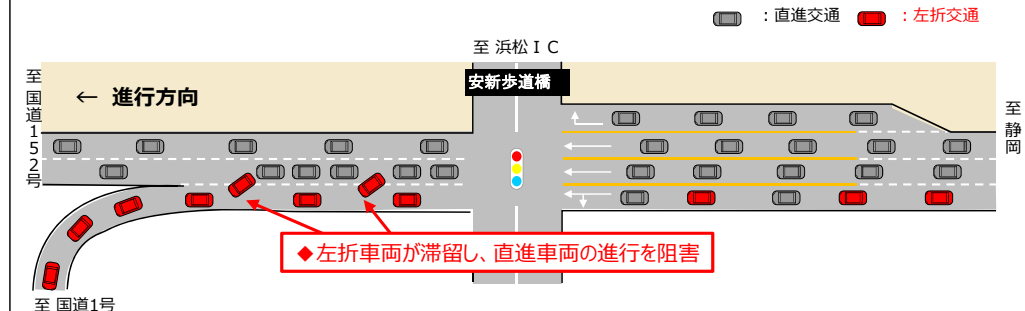
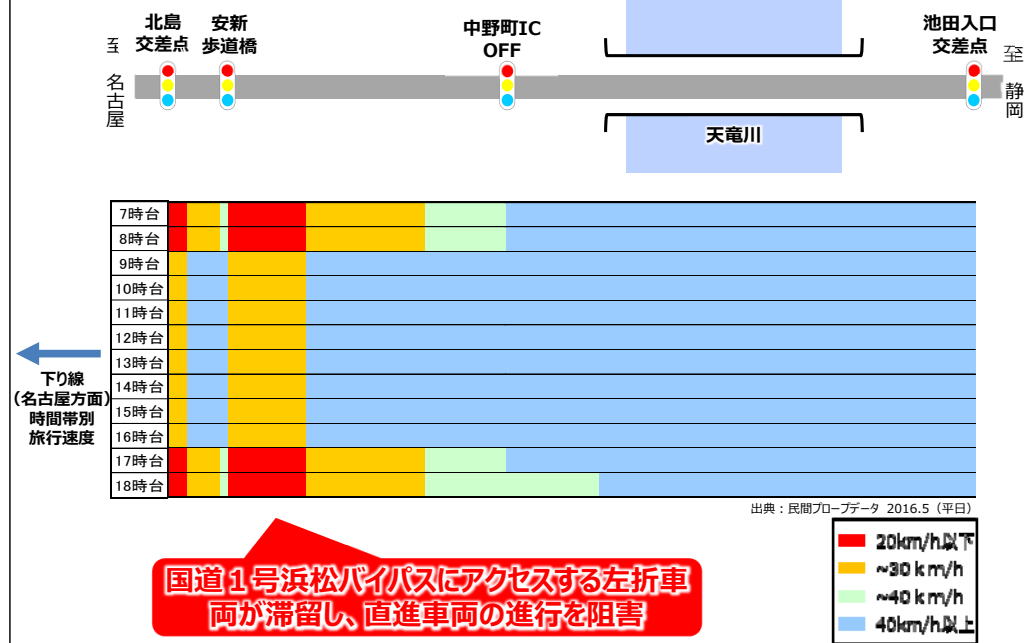
- 安新歩道橋交差点では、国道1号浜松バイパスにアクセスする左折車両が滞留し、国道152号方面への直進車両の阻害が発生。
- また、安新歩道橋交差点部で速度低下や直進車両と左折車両の錯綜による安全性の低下が課題。
- 2018年より事業着手（2018年は調査設計を実施）

■対策位置



■現状の交通課題

■安新歩道橋周辺の速度状況

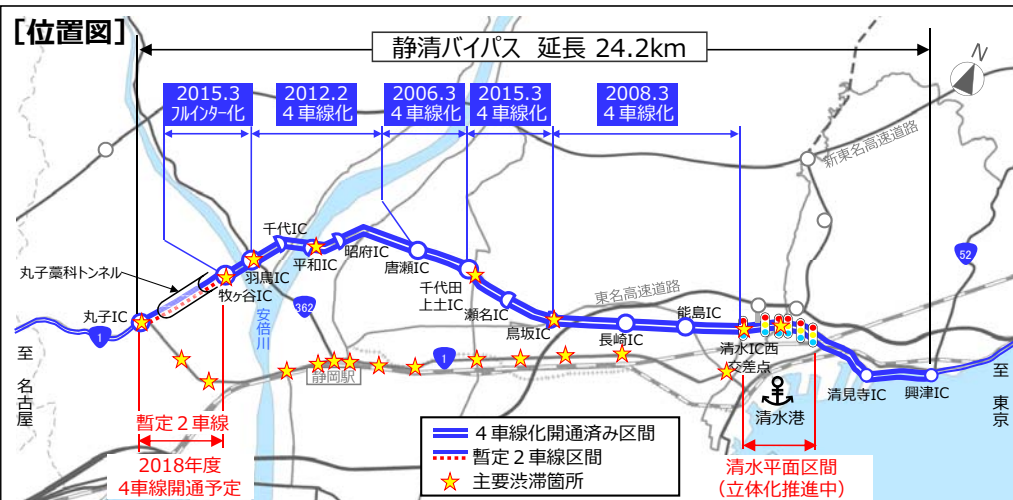


3. 今年度の主な取り組み

(4) 静清バイパス丸子IC～牧ヶ谷IC間4車線化 (実施主体：国) <整備中(2018年度開通予定)>

- 2018年度の丸子IC～牧ヶ谷IC間4車線開通に向けて、改良工事、舗装工事、トンネル設備工事を実施中。
- 現在下り(藤枝方面)にて牧ヶ谷ICを先頭に約2.5kmの渋滞が発生しており、全線4車線化により大きく改善される見込み。

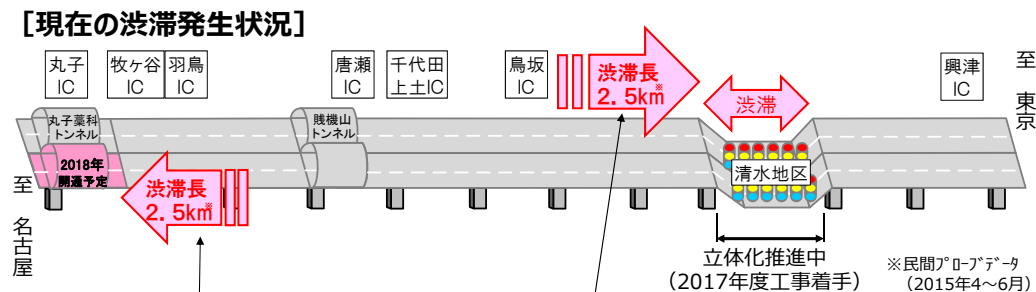
■ 静清バイパス丸子IC～牧ヶ谷IC間の概要



[丸子薬科トンネルの整備状況]



■ 現在の渋滞状況と整備効果



丸子IC～牧ヶ谷IC間における渋滞



清水平面的間における渋滞



清水立体：工事状況

[尾羽交差点付近]



[千日原交差点付近]



《全線4車線立体化への期待》



※企業ヒアリング調査結果より

・朝の通勤時間帯に発生している清水IC周辺の渋滞がなくなると良いです。

・取引先が焼津方面が多いので、丸子IC～牧ヶ谷IC間を早期開通してほしい。



3. 今年度の主な取り組み

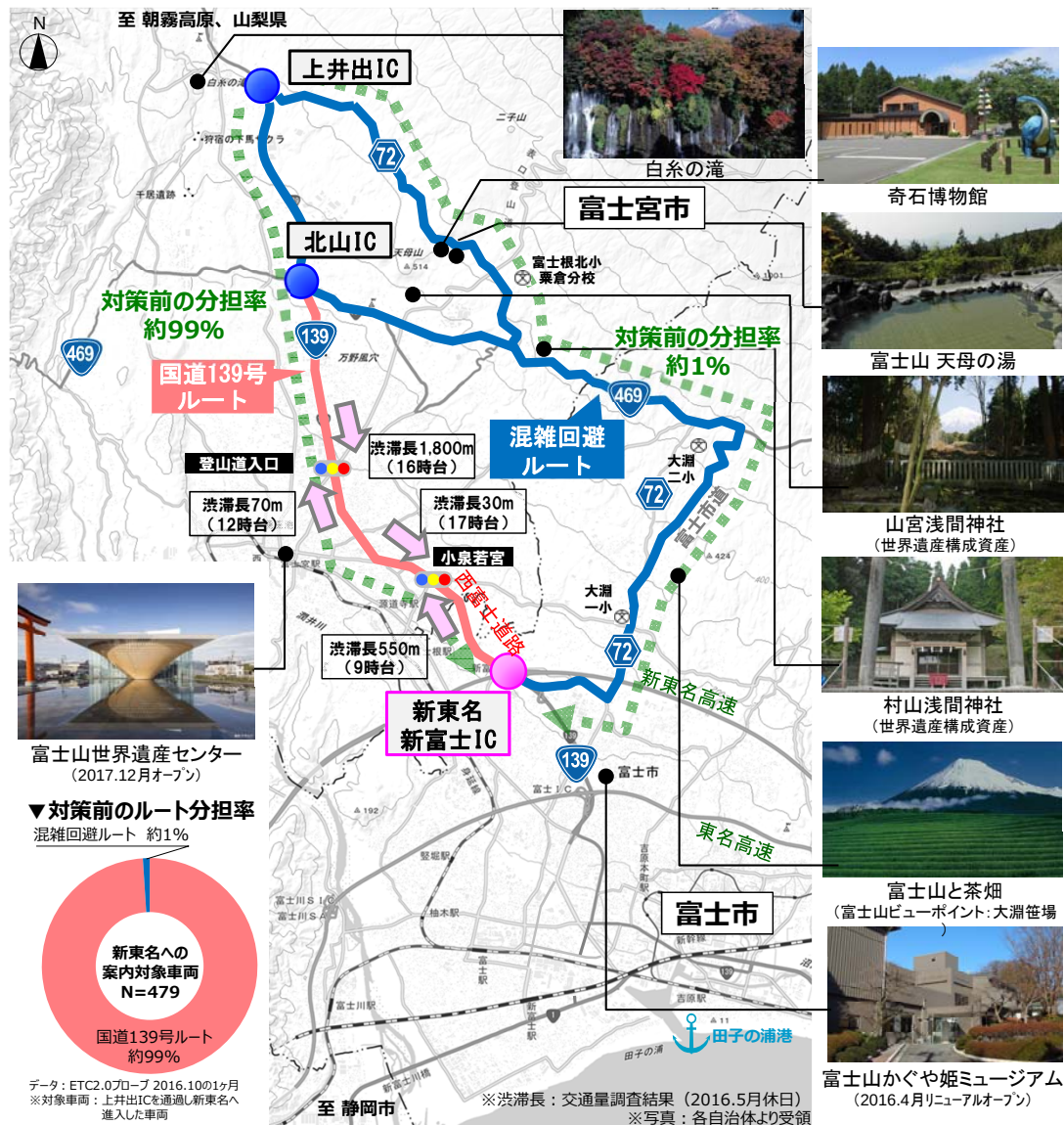
(5) 情報提供による富士市～富士宮市間における交通案内誘導（実施主体：国） <一部改良検討中>

- 富士～富士宮間において、過年度までに実施した交通案内誘導施策を改良し、今年度は夏季（お盆時期）と秋季にそれぞれ短期ソフト対策を実施予定。
- 夏季は情報提供を中心としたソフト施策、秋季は昨年度の対策を踏まえ効果的な時間分散・空間分散対策を検討予定。

■ 取組み概要

対策内容	● 西富士道路・国道139号から他路線への案内誘導を促すため、①現地案内誘導、②情報提供（取組の周知）を実施。 ● 「山梨方面から帰宅する車両」を対象に新東名新富士ICまでの迂回案内を実施 ※秋季対策では「山梨方面へ向かう車両」への対策も検討。
対策期間	2018年8月（夏季）と11月（秋季）<休日を対象> ※具体的な日時は今後調整
誘導区間	①新東名新富士IC～国道139号上井出IC ②新東名新富士IC～国道139号北山IC
現状	● 富士山周辺の観光入込客は、11月の紅葉シーズンが、GW・夏休み期間に次いで多く、西富士道路・国道139号では著しい交通混雑が発生。特に、国道139号上り（富士宮→富士方面）夕方の速度低下が顕著。
実施方法（案）	夏季 ● 特設HPを開設した上で、関係機関・施設と連携し「HPバナーへの掲載」や「チラシ配布・ポスター掲示」、「twitter等のSNS」による情報提供を実施 ● 迂回ルート案内の情報提供エリアの広域化（新東名・東名のSA・PA等） ● 世界遺産センターへの案内誘導
	秋季 ● 迂回ルートの案内看板（SL看板）の設置（期間中の維持管理は、道路管理者と連携） ● 新富士ICから山梨方面へ向かう車両に対する情報提供 ※特設HP、チラシ・ポスター、SNS発信等は夏季より引き続き実施
実施結果の分析方法	● 混雑回避ルートにモバイルトラカンを設置し、国道139号からの転換状況等を分析。また、ETC2.0プローブ等も活用。 ● 現地観光施設におけるアンケート調査、Webアンケート調査等の実施も検討中。

■ 混雑回避ルートと観光施設の位置



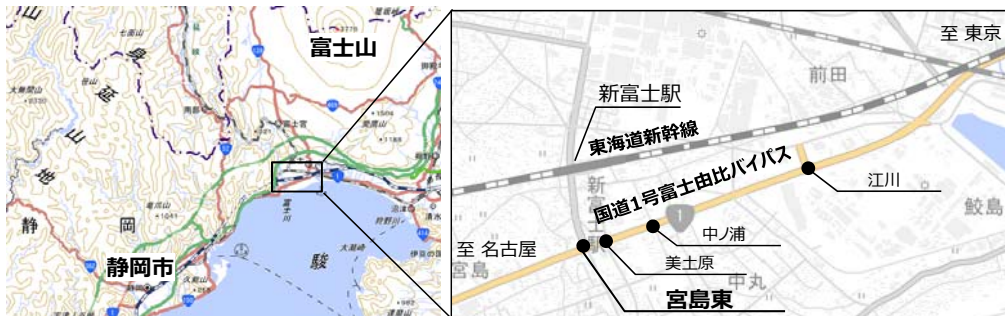
3. 今年度の主な取り組み

(6) 国道1号宮島東交差点の右折2車線化対策 (実施主体：国) <着工予定>

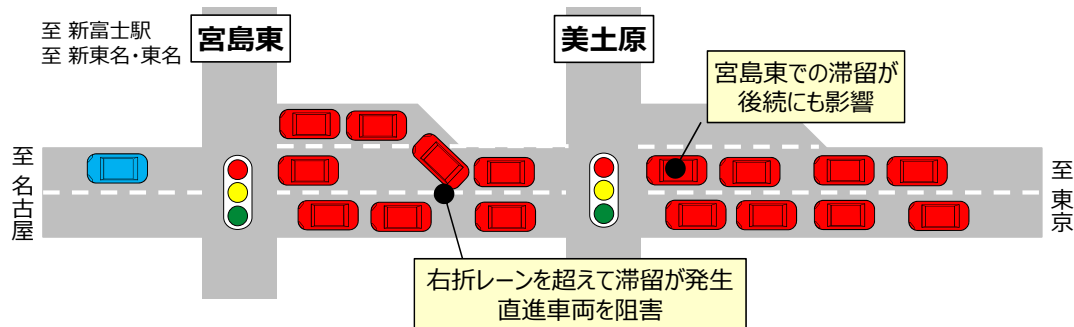
- 宮島東交差点の右折車両が右折車線を越えて直進車両を阻害し、隣接する美土原交差点まで影響。
- 右折2車線化することにより、直進車両への阻害を解消することで、渋滞緩和に期待。今年度は工事に着手する予定。

■ 対策概要

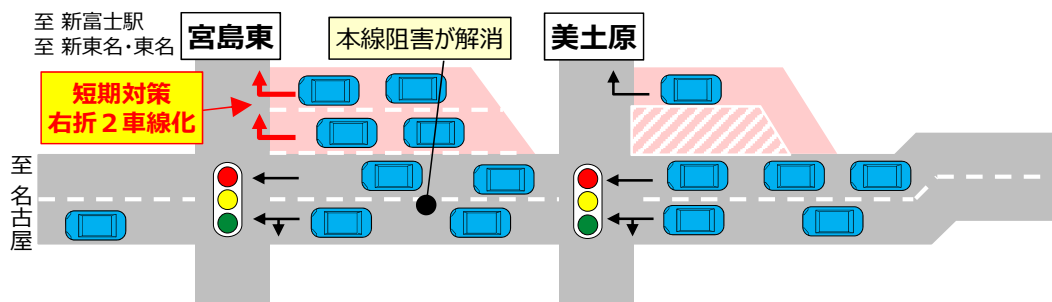
◆対策位置図



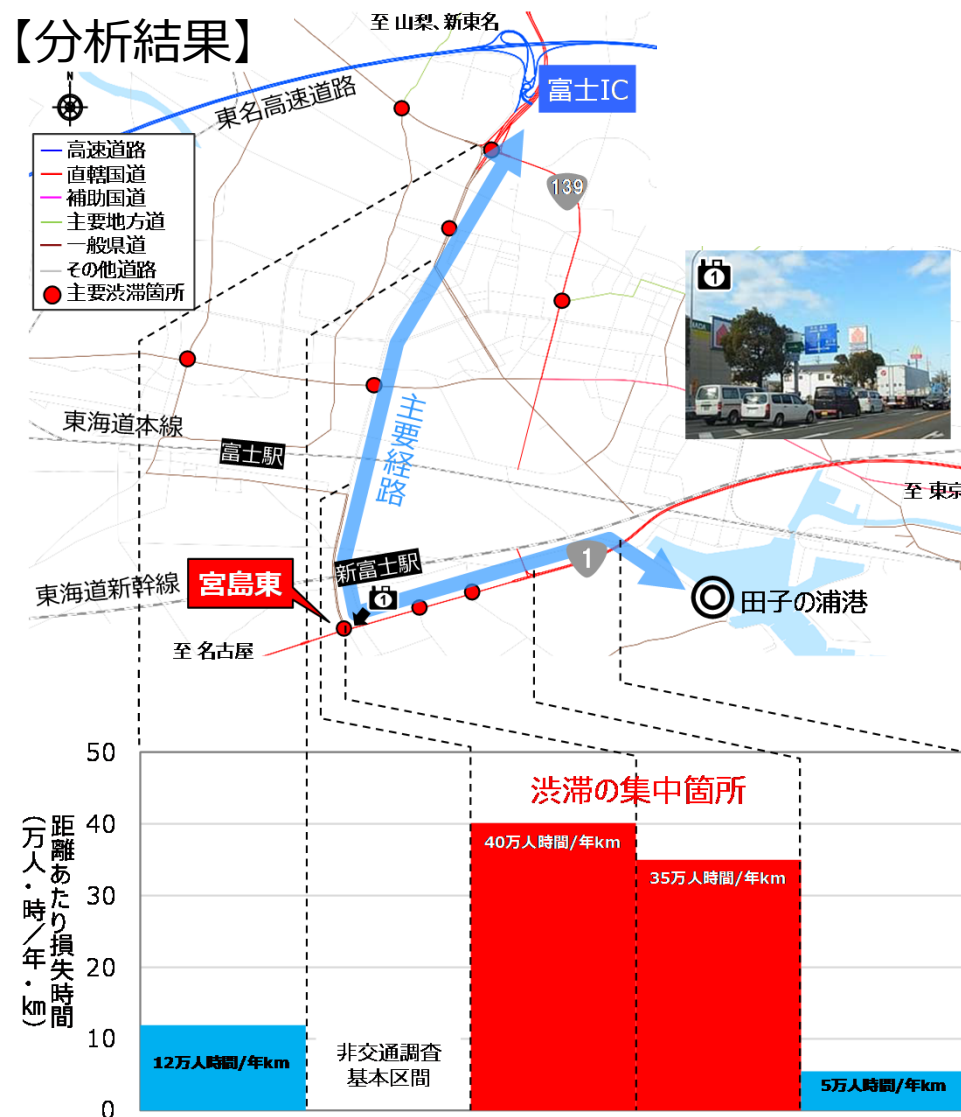
◆現在の宮島東交差点（下り）



◆対策後の宮島東交差点（下り）



【分析結果】



3. 今年度の主な取り組み

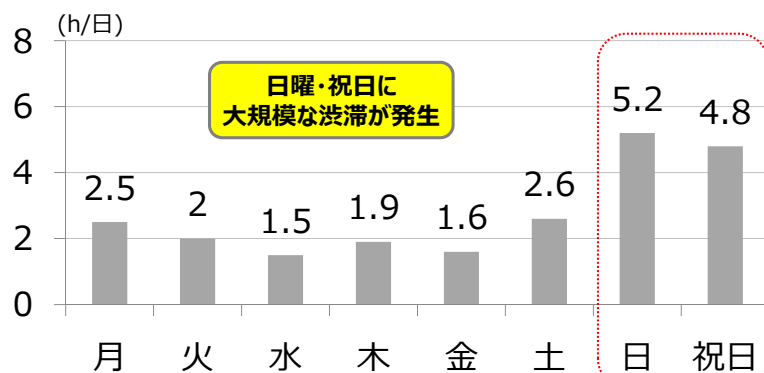
(7) 東駿河湾環状道路 サグ部の混雑状況

- 東駿河湾環状道路は休日の夕方を中心に伊豆半島の観光客の帰路となる交通が集中。
- 大場・函南IC付近下り線側（沼津方面）は、I C合流後から上り坂となっており、無意識のうちに走行速度が低下することにより渋滞が発生。

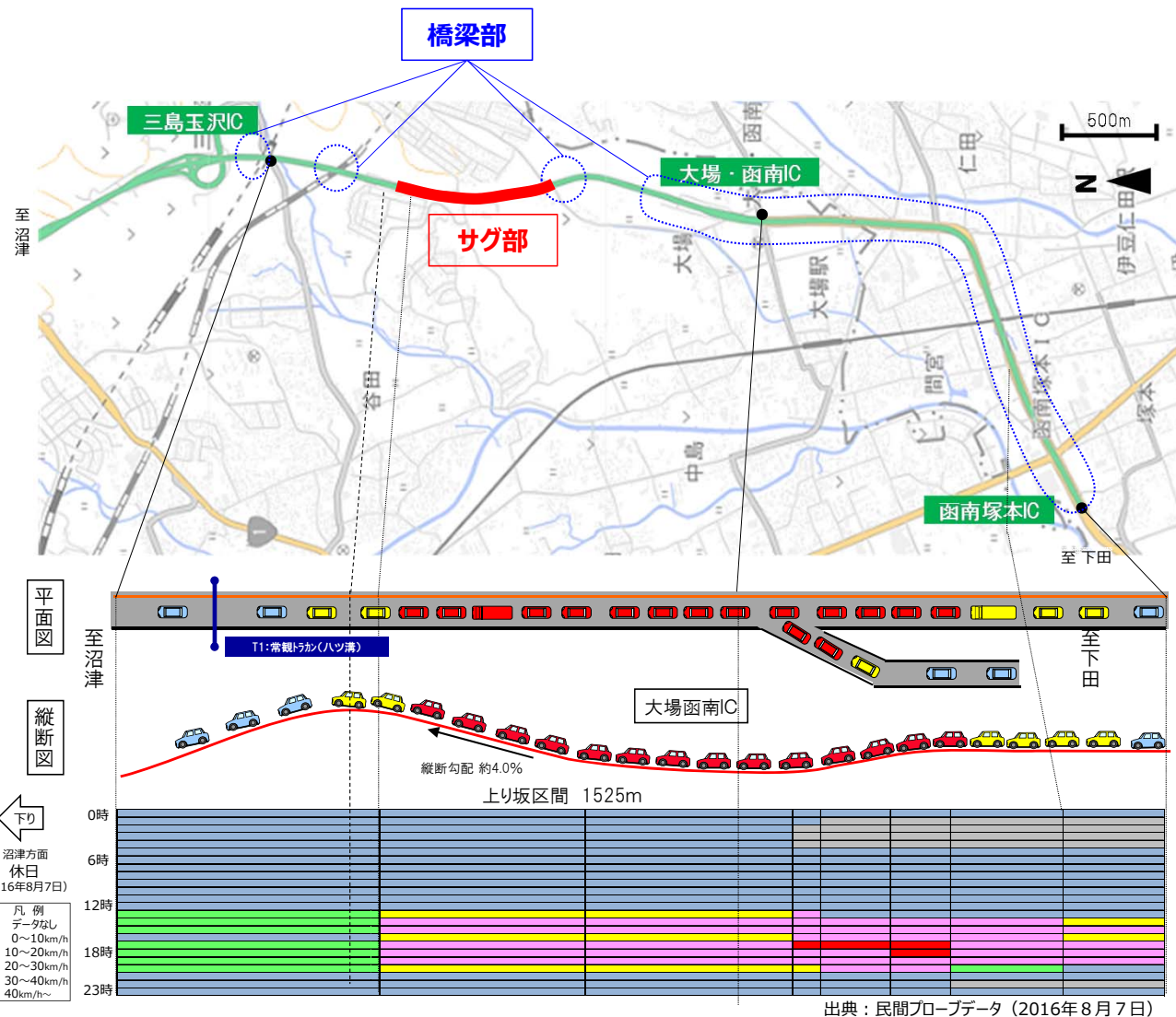
■位置図



■東駿河湾環状道路（4工区）の曜日別渋滞時間



出典：渋滞時間、速度：2017.1～2017.12ハツ溝トラカンデータ（下り線）
渋滞判定はトラカンデータで速度40km/h未満の時間帯を集計

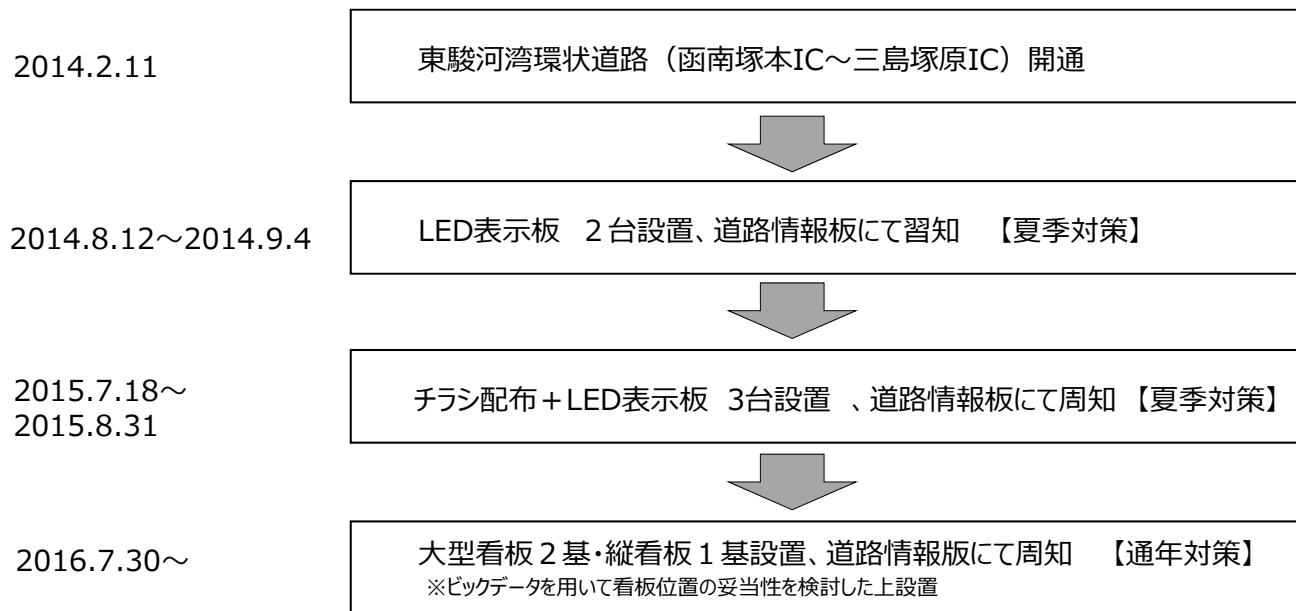


出典：民間プローブデータ（2016年8月7日）

3. 今年度の主な取り組み

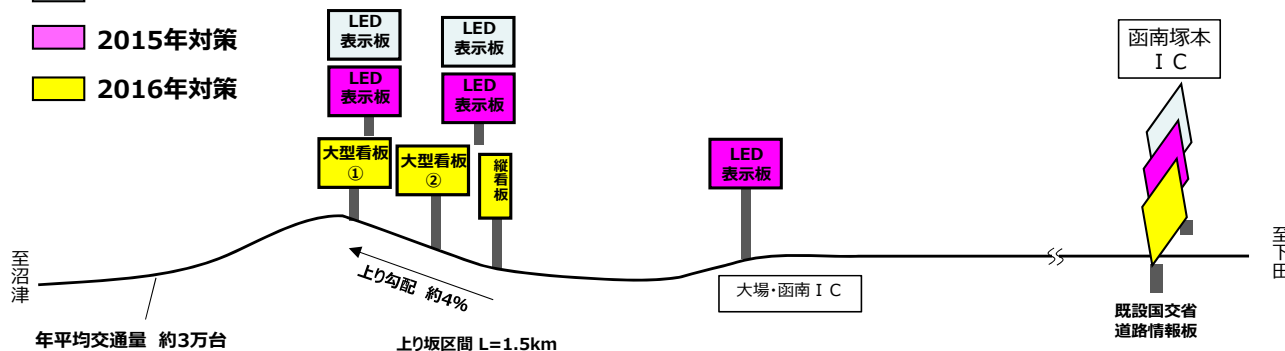
(7) 東駿河湾環状道路 サグ部の混雑状況（短期対策の経緯）

■ 短期対策の経緯



■ 対策内容

- 2014年対策
- 2015年対策
- 2016年対策



■ これまでに実施した対策内容

2014年度

対策内容：LED表示板2台設置

＜LED設置期間＞

2014年8月12日(火) ～ 2014年9月4日(木)

＜事前計測（モバトラ）＞

2014年7月12日(土) ～ 2014年8月11日(水)

＜事後計測（モバトラ）＞

2014年8月12日(火) ～ 2014年9月2日(火)

2015年度

対策内容：チラシ配布＋LED表示板3台設置

＜LED設置期間＞

2015年7月18日(土) ～ 2015年8月31日(月)

＜事後計測（モバトラ）＞

2015年7月18日(土) ～ 2015年8月31日(月)

2016年度

対策内容：大型看板2基・縦看板1基設置

＜大型看板設置期間＞

2016年7月30日(土) ～

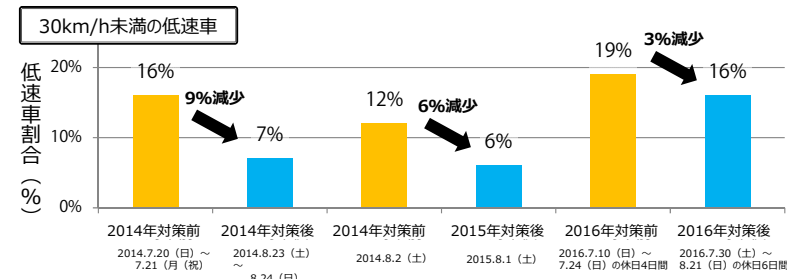
＜事前計測（モバトラ）＞

2016年7月10日(日) ～ 2016年7月24日(日)

＜事後計測（モバトラ）＞

2016年7月30日(土) ～ 2016年8月21日(日)

■ 対策効果



3. 今年度の主な取り組み

(7) 東駿河湾環状道路 今後の整備スケジュール（案）

短期	対策メニュー	実施機関		実施機関
2014年度	LED表示板設置（2台）、道路情報板にて情報提供	国	—	—
2015年度	LED表示板設置（3台）、道路情報板にて情報提供	国	混雑情報をHPにて提供開始（沼津・三島地域）	国・県・市町・観光協会等
2016年度	ビックデータを用いて速度低下位置等を特定し、注意喚起の大型看板等設置を設置	国	混雑情報提供範囲を拡大（上記＋伊豆地域） 主要路線の所要時間を表示	国・県・市町・観光協会等

短期	対策メニュー（案）	実施機関
2017年度	・河津桜まつり等の繁忙期における交通状況を調査し、関係機関（県・市町・観光地）において、時間分散、経路分散などの対策を検討・実施	国・県・市町・観光協会等
2018年度	・夏季観光期・河津桜まつりの際に、主要な道の駅や料金所において時間分散、経路分散など促すチラシを配布予定	国・県・市町・観光協会等



中期	対策メニュー（案）
	短期対策の効果を検証しつつ、付加車線の設置を含めた渋滞対策を検討



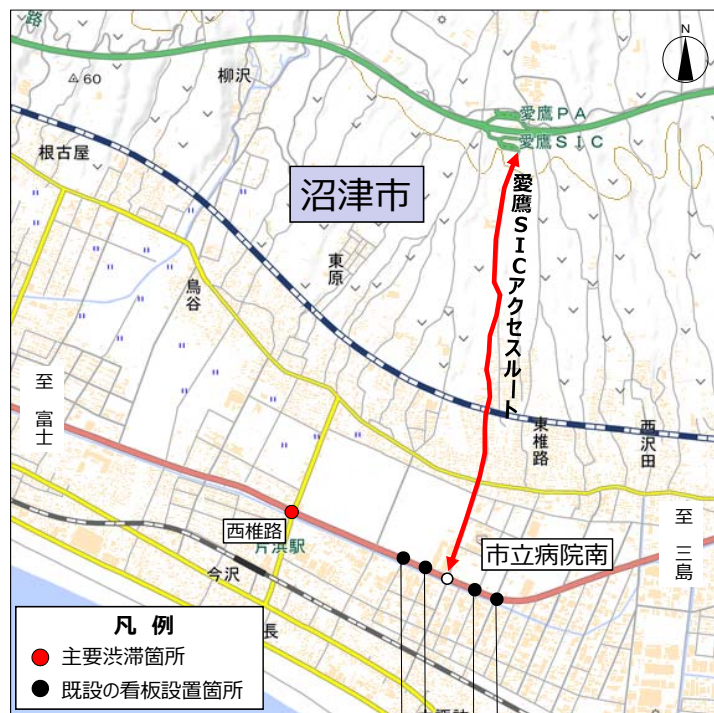
長期	対策メニュー（案）
	4車線化

3. 今年度の主な取り組み

(8) 国道1号愛鷹S I Cへ交通を促す対策 (実施主体：国)

- 愛鷹S I Cの2016.3開通に伴う、国道1号の対策として、2017.12に愛鷹S I Cへ案内する横断幕を横断歩道上に設置。
- その結果、左折率の増加等の効果がみられたものの、依然として市立病院南交差点の渋滞は慢性化。今後さらなる対策が必要。

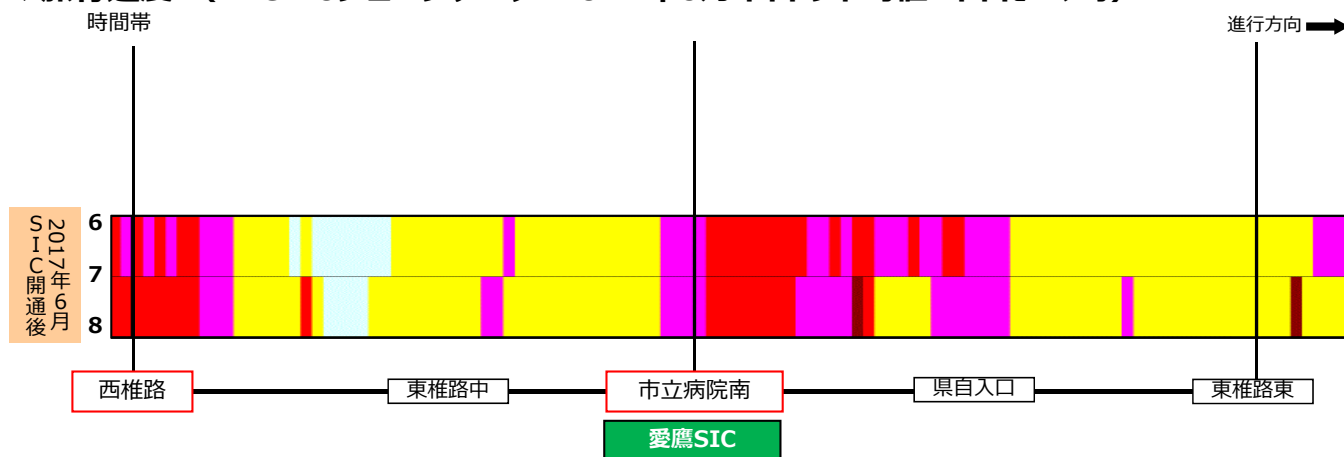
■位置図



【愛鷹スマートIC開通後(2016年6月：平日) 沼津IC利用圏域】



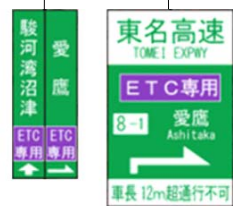
◆旅行速度 (ETC2.0プローブデータ 2017年6月平日の平均値・平日比・7時)



【上り線案内看板 (東行き)】

【下り線案内看板 (西行き)】

既存の案内看板



3. 今年度の主な取り組み

(9) 国道246号裾野IC入口交差点の渋滞対策 (実施主体：国)

- 裾野IC入口交差点は、国道246号の沿線地域の企業（裾野IC周辺の大規模事業所や御殿場市の駒門工業団地など）への通勤車両による交通集中に伴い、朝夕のピーク時を中心に渋滞が発生しており、速達性が低い。
- 交通の集中する朝夕ピーク時を対象として過年度に発進遅れ対策を実施したものの、混雑解消には至っていない。今後さらなる対策が必要。

■ 裾野IC入口交差点周辺の混雑状況

平日 7時台 旅行速度 (朝ピーク)



休日 7時台 旅行速度 (比較参考)

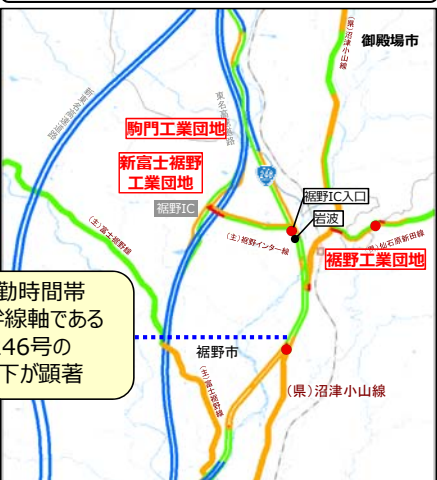


平日通勤時間帯において幹線軸である国道246号の速度低下が顕著

平日 17時台 旅行速度 (タピーク)

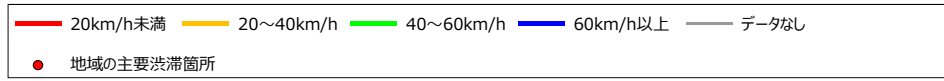


休日 17時台 旅行速度 (比較参考)



平日通勤時間帯において幹線軸である国道246号の速度低下が顕著

データ：ETC2.0プローブデータ (2017.10月)



■ 過年度に実施した発進遅れ対策 (2016年度実施)

<横断幕設置箇所>

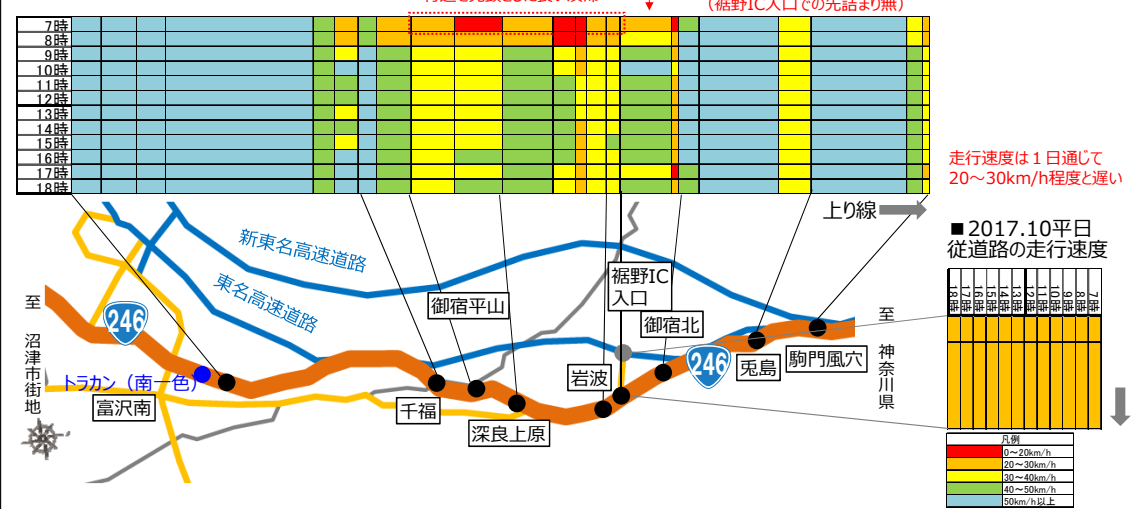


<横断幕デザイン>

混雑緩和 のため **スムーズな発進** に ご協力を！

静岡県道路交通渋滞対策協議会・国土交通省 沼津河川国道事務所

■ 2017.10平日 (上り線) 走行速度



データ：ETC2.0プローブデータ2017.10平日

3. 今年度の主な取り組み

(10) 足柄スマートICの設置【スマートIC整備】 (実施主体：御殿場市・小山町)

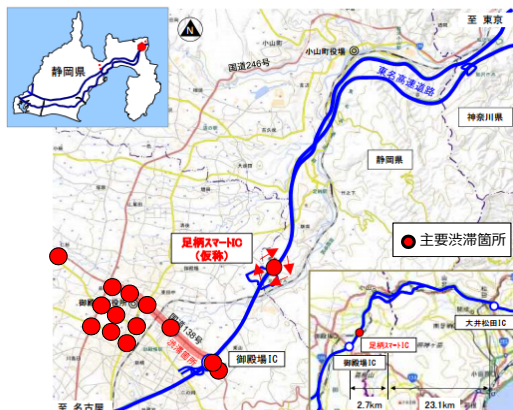
- 2016.5.27に新規事業化。2019年3月末に開通予定。
- 足柄スマートICの整備により、一般道の渋滞を回避して高速道路にアクセスが可能となり、小山町及び御殿場市における高速道路の利便性向上が図られる
- 新たな観光施設整備に伴う御殿場IC及び周辺道路への交通負荷を回避

■東名高速道路 足柄スマートIC(仮称)

<概要>

路線名：第一東海自動車道
(大井松田IC～御殿場IC間)
設置場所：静岡県駿東郡小山町
接続形式：SA・PA接続型
形式：全方向(4/4)
運用形態：全車種 24時間

<位置図>



完成イメージ(上り線)



出典：小山町ホームページ

完成イメージ(下り線)



出典：小山町ホームページ

～高速道路の利便性向上～

- (仮称)足柄スマートICの整備により、一般道の渋滞を回避して高速道路にアクセスが可能となり、小山町及び御殿場市における高速道路の利便性向上が図られる
- 新たな観光施設整備に伴う御殿場IC及び周辺道路への交通負荷を回避

<御殿場市街地および御殿場ICの混雑状況(休日12時間平均)>



<御殿場ICでの渋滞発生状況(2014年)>

	御殿場～御殿場JCT	大井松田～御殿場
渋滞回数(回/年)	29	45
渋滞長(km)	年平均 2.9	年平均 3.5
渋滞時間(時間)	年平均 2.5	年平均 2.1

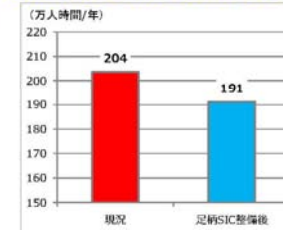
出典：NEXCO中日本提供資料(渋滞データ2014年)

<(仮称)足柄スマートIC設置による交通分散効果>



所要時間：ETC2.0プローブ情報 2015年11月休日15時

<御殿場市街地の渋滞損失時間の変化>



注)左図の集計範囲内の渋滞損失時間

<新規観光施設へのアクセス>



(抜粋)2016年5月(仮称)足柄スマートIC実施計画書

3. 今年度の主な取り組み

(11) (仮称) 駒門スマートICの設置 [スマートIC整備] (実施主体：御殿場市)

- 2016.5.27に新規事業化。2020年3月末に開通予定。
- 「工業団地直結のスマートIC」により、高速道路までのアクセス時間が短縮され、企業活動・物流の効率化が期待できる。
- 内陸フロンティア推進区域に指定された「板妻南工業団地」への企業誘致促進に繋がる。
- 利便性の向上により、工業地域への企業誘致促進や雇用拡大など地域産業の活性化が期待できる。

■東名高速道路（仮称）駒門スマートIC

<概要>

路線名：第一東海自動車道
(御殿場IC～裾野IC間)
設置場所：静岡県御殿場市
接続形式：SA・PA接続型
利用方向：全方向(4/4)
運用形態：全車種 24時間

<位置図>

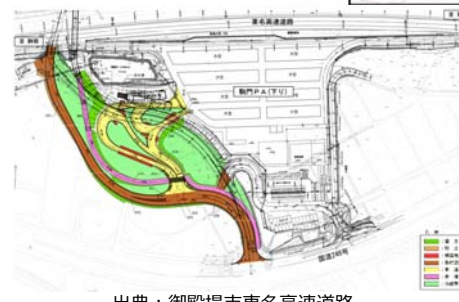


概略図面（上り線）

概略図面（下り線）



出典：御殿場市東名高速道路
(仮称) 駒門スマートIC実施計画書



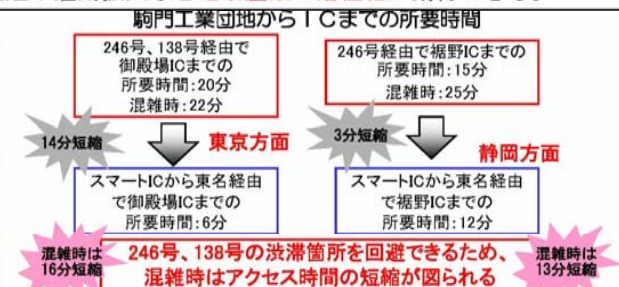
出典：御殿場市東名高速道路
(仮称) 駒門スマートIC実施計画書

8. スマートICの設置により期待される整備効果

①東名高速道路までのアクセス時間短縮による企業活動・物流の効率化

- 「工業団地直結のスマートIC」により、高速道路までのアクセス時間が短縮され、**企業活動・物流の効率化**が期待できる。
- 内陸フロンティア推進区域に指定された「板妻南工業団地」への**企業誘致促進**に繋がる。
- 利便性の向上により、工業地域への企業誘致促進や雇用拡大など**地域産業の活性化**が期待できる。

■高速道路までのアクセス時間短縮



■周辺立地企業のスマートICへの期待



- ・会社の立地が御殿場と裾野の間に位置しているので(仮称)駒門スマートICの設置を期待しています。
- ・スマートICが設置されると工業用地への進出のきっかけになります。
- ・駒門にスマートICが設置されると通勤などの移動が便利になります。
- ・御殿場ICのアウトレットによる渋滞の解消や渋滞を回避するため、早期の設置を希望します。

※2014年度御殿場市が実施した「周辺立地企業へのアンケート調査」結果より抜粋
(抜粋) 2016.5月東名高速道路（仮称）駒門スマートIC実施計画書

3. 今年度の主な取り組み

(12) 伊豆中央道 江間交差点 立体化 (実施主体：静岡県、静岡県道路公社)

- 東名・新東名から伊豆市までの間で唯一残る信号交差点であり、伊豆地域が観光で賑わう休日を中心に慢性的な渋滞が発生。
- 2020年6月までの完成を目標に事業中



■事業概要

2020年東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技が伊豆市で開催されることを踏まえ、2020年6月までの完成を目標とし、当該交差点の立体化及びIC設置の付替え事業に着手



■計画概要

有 料 道 路 名		伊豆中央道
路 線 名		一般国道136号
区 間		静岡県伊豆の国市 南江間 ～北江間
延 長		1.05km
本 線	道路の区分	3種2級
	設 計 速 度	60km／h
	車 線 数	2車線
ラ ン プ	ランプ種別	D規格
	設 計 速 度	30km／h
	車 線 数	1車線

■立体交差部完成イメージ (江間いちご狩りセンター付近から)

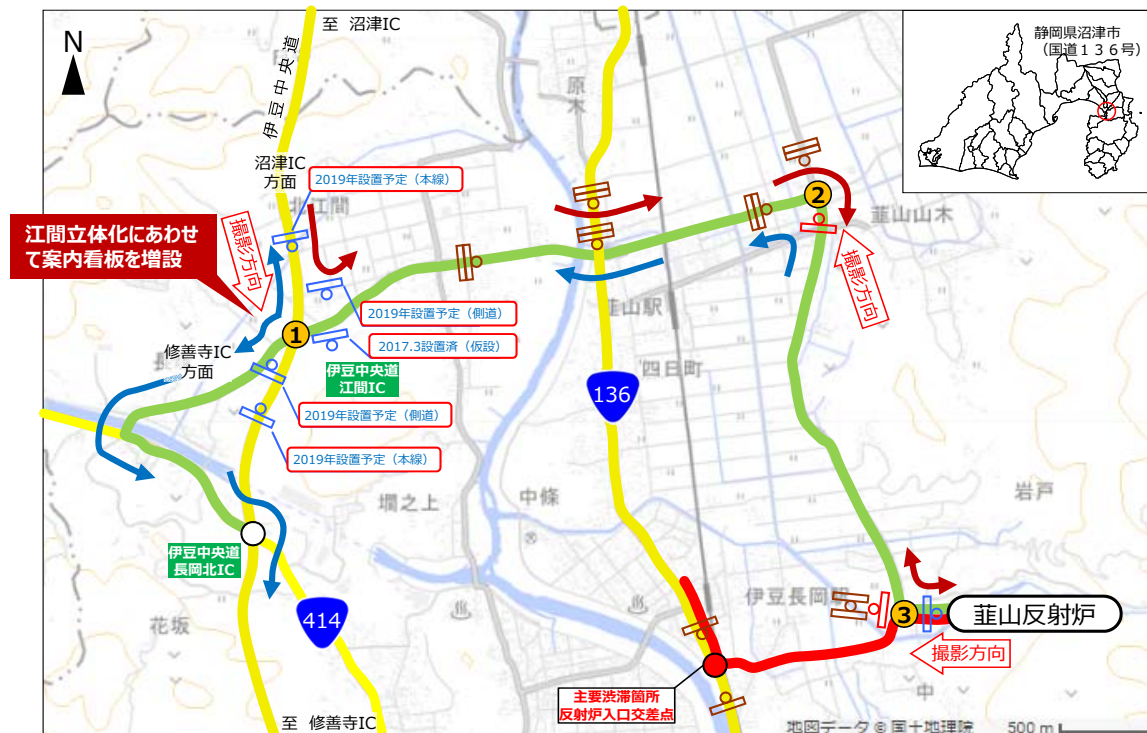


3. 今年度の主な取り組み

(13) 韮山反射炉における経路分散による渋滞対策（実施主体：静岡県、伊豆の国市）

- 国道136号韮山反射炉入口交差点の混雑を避けるため、韮山反射炉への推奨ルートに恒久的な誘導看板を設置。
- 江間交差点立体化工事にあわせて、2016年度から伊豆中央道江間IC付近の案内看板を増設。

◆ 韮山反射炉への誘導ルート（伊豆の国市HP資料加筆）



(2017.3更新済)



◀取り組み実施時期▶

2016年度～

◀取り組み実施機関▶

伊豆の国市
静岡県

◀取り組み内容▶

・ 韮山反射炉への案内誘導・推奨ルートの提供

凡例

- ➡ 推奨ルート（反射炉方面）
- ➡ 推奨ルート（帰路）
- 国道
- 混雑箇所
- 推奨ルート（現状の主なルート）

道路案内標識
（設置：静岡県）

統一ロゴ入り
著名地点案内標識
（設置：伊豆の国市）

地域別公共サイン行動計画
著名地点誘導標識（単体）
（設置：伊豆の国市）

地域別公共サイン行動計画
著名地点誘導標識（集合）
（設置：伊豆の国市）



3. 今年度の主な取り組み

(14) 国道136号バイパス サグ部 速度低下対策 (実施主体：静岡県道路公社・静岡県)

- 国道136号バイパス（伊豆の国市内）にて慢性的に発生している沼津方面のサグ部における渋滞や速度低下の緩和対策を実施する。
- 長岡第3トンネル内に、任意の速度で進行方向に流れるように発光する「視線誘導灯」を設置し、車両の走行速度回復を図る。
- 今後、長岡第3トンネルの設置工事完了後に効果検証し、渋滞緩和に一定の効果が見られれば、対象箇所を拡大予定。



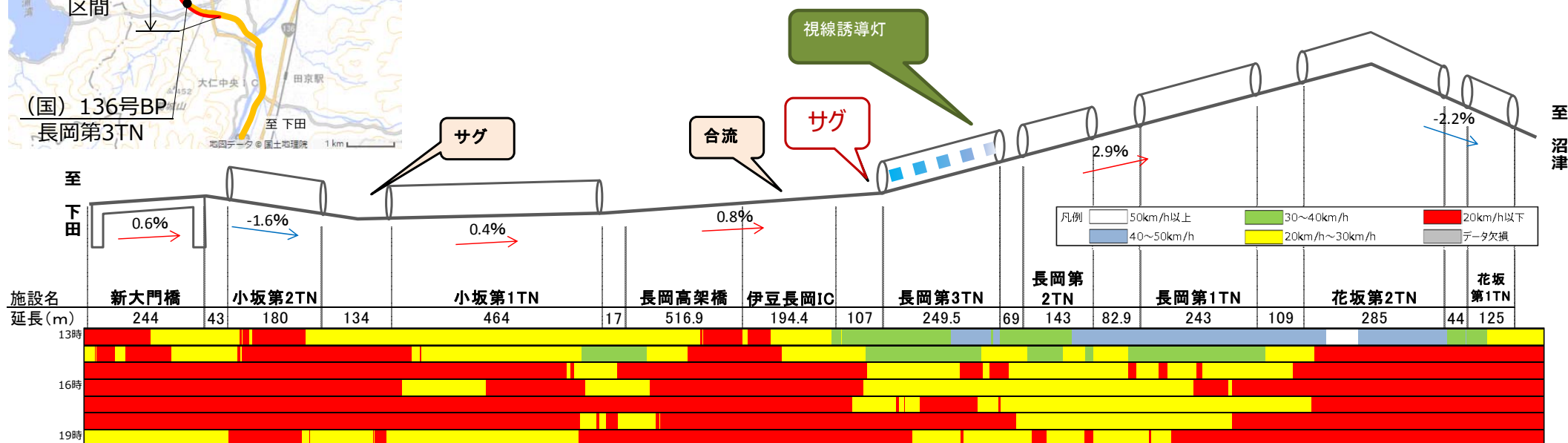
■ 視線誘導灯の例



※引用：弘前河川国道HP

【2018年事業概要】

工事内容： 視線誘導灯設置工
設置箇所： 長岡第3トンネル
延長： 249.5m
設置時期： 2018年内完了予定



資料：ETC2.0データ(2016年8月13~15日)

(15) 事業者負担による渋滞対策の事例 (実施主体：三菱地所・サイモン(株) (御殿場プレミアムアウトレット)、御殿場市)

- 御殿場プレミアムアウトレットの第4期増床にあたり、事業者負担で交差点改良や道路拡幅整備を実施。また、パークアンドライド等のソフト施策を実施。
- 御殿場市では、市道0115号線を整備し、国道138号・東名御殿場ICの渋滞緩和に期待。

至 足柄SA

小山町道2391号・2385号
交差点改良

426

御殿場プレミアム・アウトレット

**第4期増床エリア
2020年開業目標**

**道路拡幅整備
市道1578号**

至 御殿場IC

地図データ © 国土地理院 100m

足柄スマートIC開通による交通流動の変化に備えて、小山町道2391号・2385号やアウトレット正面の交差点を改良。交通量の増加に備えて見通しを確保するとともに、単独左折車線を新設しアウトレットモールへ向かう車両と一般車を分離。

足柄スマートIC開通による交通流動の変化に備えて、第4期増床エリア周辺の御殿場市道1578号の拡幅整備を実施。

混雑時に場外駐車場へ誘導、パーク&バスライドを実施



御殿場プレミアム・アウトレットHPより

HPで高速バスでの来場を呼びかけ



御殿場プレミアム・アウトレットHPより

高速路線バスの一例

新宿駅出発 発着時刻 新宿駅南口 乗換 大人片道：1,650 (小人：830) 大人往復：2,880 (小人：1,440) 運行日 毎日運行 詳細はこちら	新宿駅出発 出発時刻 新宿駅南口 / 大丸ビル南口 / 大塚 駅南口 乗換 大人片道：2,880 (小人：2,060) ※片道のご利用はできません。 運行日 毎日運行 詳細はこちら
東京駅到着 発着時刻 東京駅丸の内口 / スターミナル 乗換 大人片道：1,650 (小人：830) 大人往復：2,880 (小人：1,440) 運行日 毎日運行 詳細はこちら	品川駅到着 発着時刻 品川駅東口 (東口) 乗換 大人片道：1,650 (小人：830) 大人往復：2,880 (小人：1,440) 運行日 毎日運行 詳細はこちら

御殿場プレミアム・アウトレットHPより

石川病院付近から国道１３８号に繋がる市道０１１５号線を整備し、国道１３８号・東名インターの渋滞緩和が期待される。

計画総延長約１２００ｍのうち、２０１６年度までに約６７０ｍが完成。（全線開通予定未定）

- 主要渋滞箇所
● P&R駐車場
--- 渋滞する区間

4. 交通状況のモニタリング

4. 交通状況のモニタリング

4-1 モニタリング実施結果（2018年度）

- 最新の交通データにより、主要渋滞箇所の選定時の評価指標を用いて、最新の渋滞状況を点検。
- 点検の結果、渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所が8箇所確認された
- 今年度も最新の交通データを用いたモニタリングを実施していくとともに、抽出指標に該当しない箇所については現地状況を確認。

静岡県内の主要渋滞箇所（280箇所）のモニタリング結果 ※2017年度末

渋滞箇所の分類 (渋滞箇所の抽出指標)	主要渋滞箇所数 (280箇所)	モニタリング実施結果	
		渋滞箇所の 抽出指標に 該当する箇所	渋滞箇所の 抽出指標に 該当しない箇所
①平日における渋滞箇所 (昼間12時間の損失時間 80万人時間/年以上など)	146箇所	141箇所	5箇所
②観光期における渋滞箇所 (観光エリア内のピーク時最低旅行速度のワースト1割以内など)	19箇所	16箇所	3箇所
③踏切による渋滞箇所 (1日の踏切自動車交通遮断量5万台・時/日以上など)	4箇所	4箇所	0箇所
④パブリックコメントによる追加箇所 (パブリックコメント意見箇所を最新データなどにより確認)	111箇所	111箇所	0箇所

最新の交通データ

※ETC2.0データ、トラカンデータ等による
(2017年9-11月平日、8月休日)

4. 交通状況のモニタリング

■ 速度変化のモニタリング（渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所）

渋滞箇所の選定指標に該当しない箇所



速度変化のモニタリング
各箇所の旅行速度を方向別・時間帯別で確認

※ETC2.0データによるデータ比較

（平日） 2012年選定時：2010.9～11、2017年モニタリング：2017.9～11

（休日） 2012年選定時：2010.8、2017年モニタリング：2017.8



○速度向上がみられる箇所

⇒ 渋滞対策の取組により、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されている。



○速度向上がみられない箇所

⇒ 渋滞が緩和しているわけではないことから、経過観察とする。

モニタリング結果（静岡県）

	渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所		
	静岡県全体	速度向上がみられる箇所	速度向上がみられない箇所
①平日における渋滞箇所	5箇所	0箇所	5箇所
②観光期における渋滞箇所	3箇所	0箇所	3箇所
③踏切による渋滞箇所	0箇所	0箇所	0箇所
④パブリックコメントによる追加箇所	0箇所	0箇所	0箇所
合計	8箇所	0箇所	8箇所

4. 交通状況のモニタリング

■ 渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所

	渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所		
	静岡県全体	速度向上がみられる箇所	速度向上がみられない箇所
①平日における渋滞箇所	5箇所	0箇所	5箇所
②観光期における渋滞箇所	3箇所	0箇所	3箇所
③踏切による渋滞箇所	0箇所	0箇所	0箇所
④パブリックコメントによる追加箇所	0箇所	0箇所	0箇所
合計	8箇所	0箇所	8箇所

速度向上が見られる箇所
速度向上が見られない箇所

● : 主要渋滞箇所
(渋滞箇所の抽出指標に**該当する**箇所)
● : 主要渋滞箇所
(渋滞箇所の抽出指標に**該当しない**箇所)
◆ : 主要渋滞箇所(踏切)
■ : 主要渋滞区間
■ : 主な工場等



5. 県全体の交通状況・トピック等

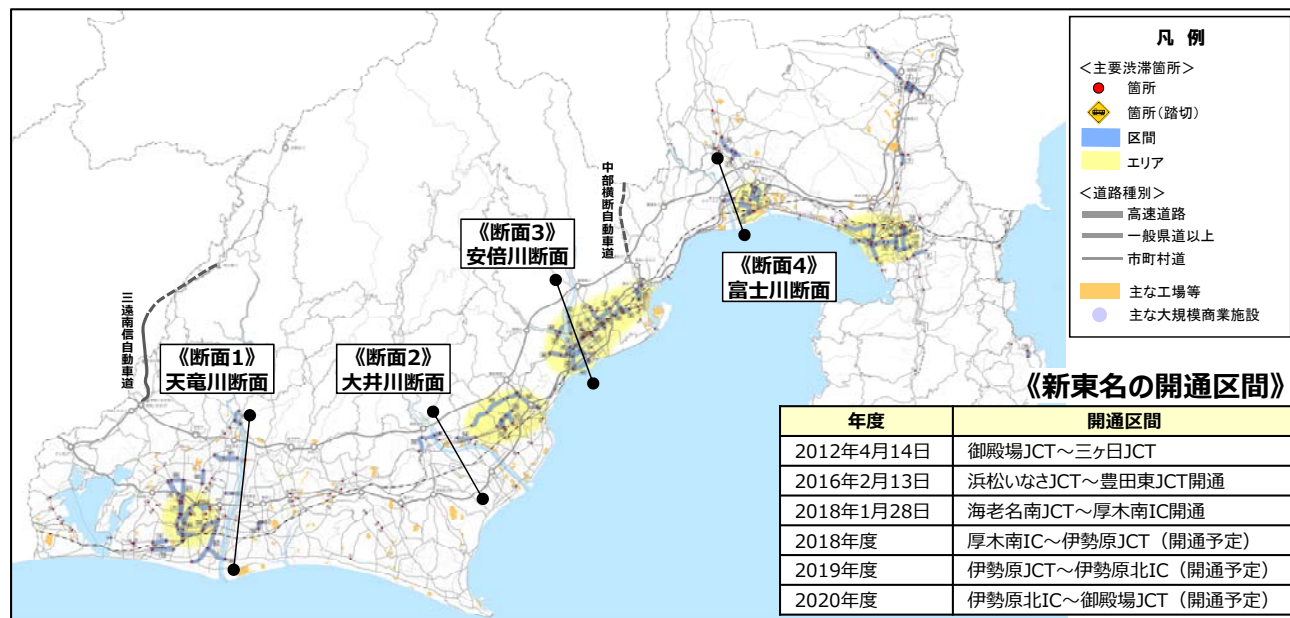
5. 県全体の交通状況・トピック等

5-1 静岡県の交通状況・トピック等（新東名開通後の交通状況）

（1） 静岡県内の交通状況の推移

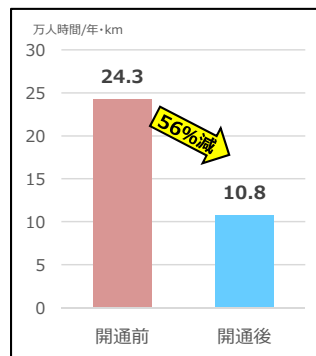
- 2012年度の新東名高速道路・御殿場JCT～三ヶ日JCT間の開通に伴い、東名高速道路の交通は約3～4割減少。
- 国道1号の渋滞損失時間は減少傾向であり、特に断面1・3ではバイパス4車線化等により交通量が増加しているが、損失時間は大幅に減少。
- 今後、新東名と接続する中部横断自動車道や三遠南信自動車道等の供用を控えており、引き続き交通状況を継続的に把握。

■ 交通量観測断面

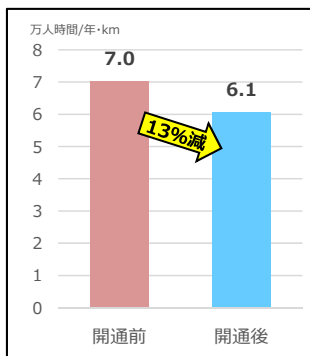


■ 新東名開通前後の国道1号の渋滞損失時間

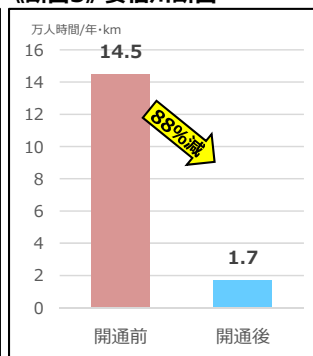
《断面1》天竜川断面



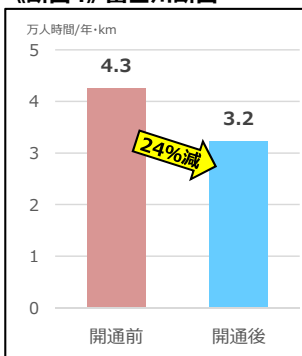
《断面2》大井川断面



《断面3》安倍川断面

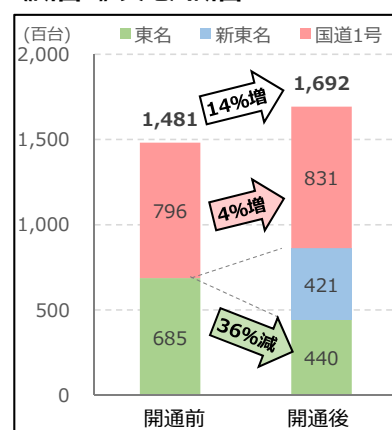


《断面4》富士川断面

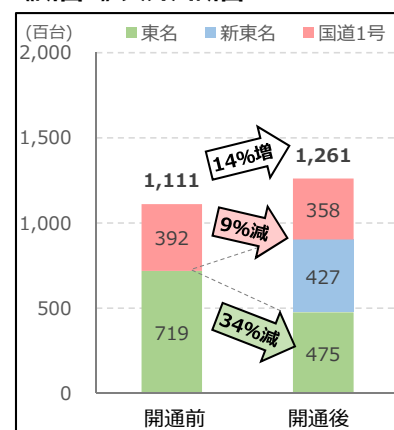


■ 新東名開通前後の交通状況変化

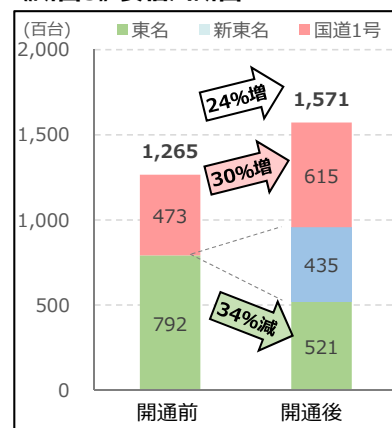
《断面1》天竜川断面



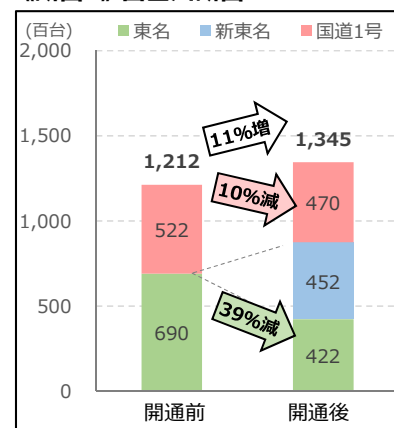
《断面2》大井川断面



《断面3》安倍川断面



《断面4》富士川断面



※開通前：2010年全国道路・街路交通情勢調査
開通後：2015年全国道路・街路交通情勢調査

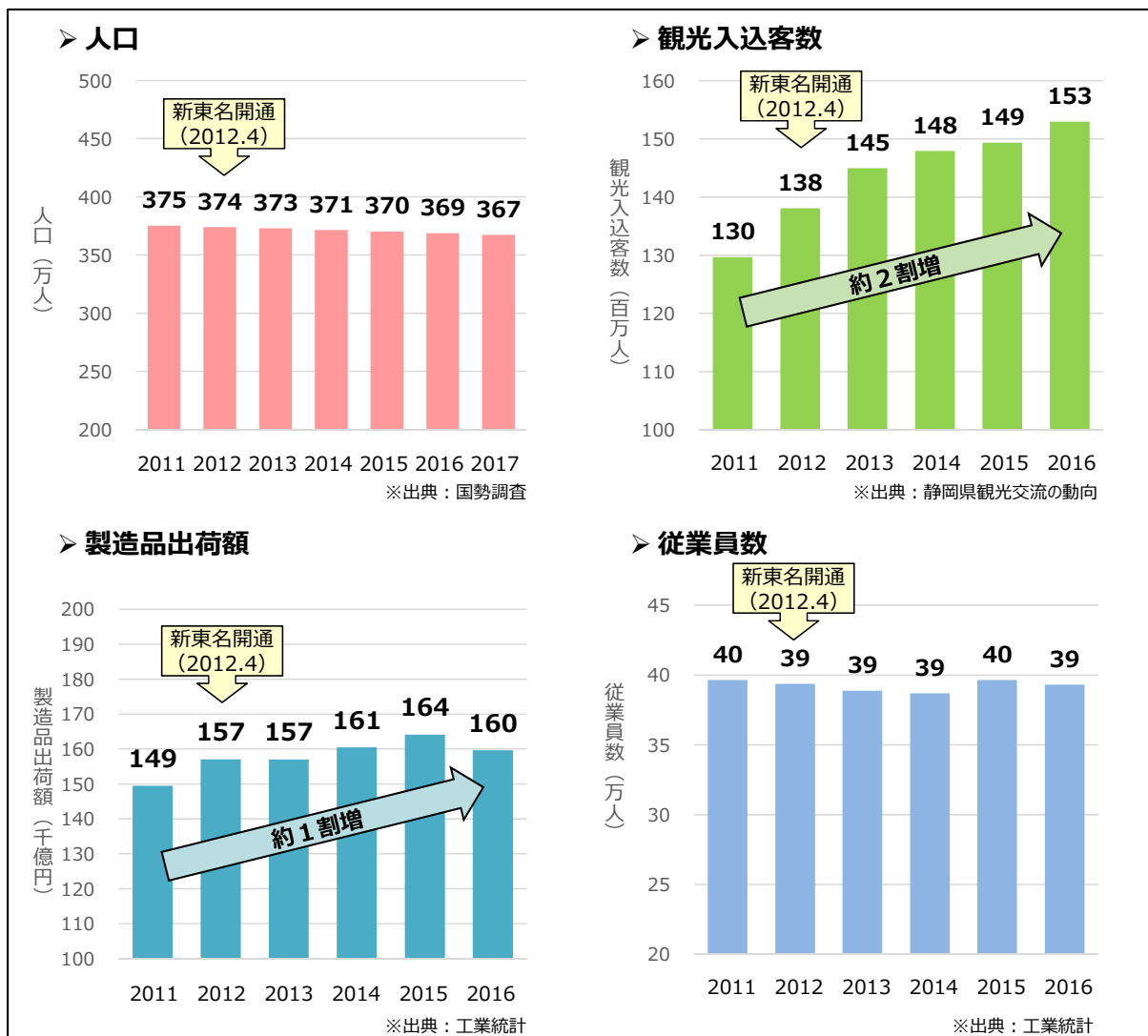
※開通前：2010.9-11民間プローブデータより算出、開通後：2017.9-11ETC2.0データより算出

5. 県全体の交通状況・トピック等

(2) 新東名開通に伴う社会経済活動への影響

- 静岡県全体の観光入込客数は、新東名開通前(2011年)と比べ約2割増加しており、製造品出荷額においても約1割増加している。
- 新東名開通による経済波及効果は約819億円と試算されており、今後、御殿場JCT以东の開通によりさらなる経済波及効果の拡大が期待される。

■新東名開通前後の社会経済指標の推移（静岡県全体）



《新東名開通による経済波及効果》

整備効果	予測・集計した主体
新東名高速道路の開通から1年間の経済波及効果 ・静岡県内への経済波及効果： 819億円 ・雇用誘発人数： 約6,900人 ・県税増収効果： 12億7,000万円	静岡県統計利用課
新東名開通による便益評価額： 348億円/年 (うち、走行時間短縮効果：125億円/年)	一般財団法人静岡経済研究所
新東名開通によるS A / P Aにおける消費額(需要効果)： 249.9億円 ※うち、新東名増加分：278.3億円、東名減少分：28.4億円	公益財団法人中部圏社会経済研究所

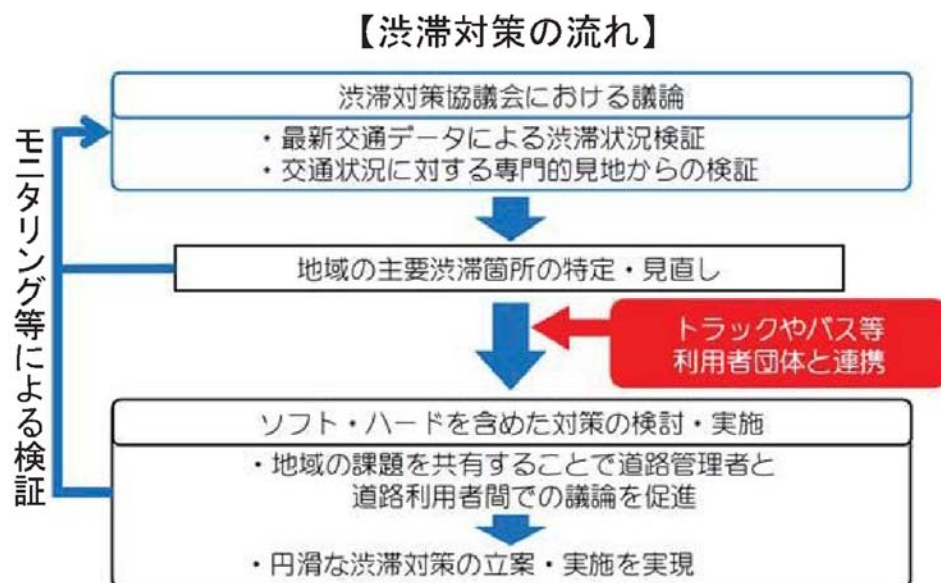
5. 県全体の交通状況・トピック等

5-2 道路利用者団体との連携強化

《トラック・バス渋滞ポイントにおける対策》

- 渋滞協議会とトラックやバスの利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定。
- 速効性のある渋滞対策を検討・実施。

■概要



■対策予定箇所

国道 156 号 入舟町 5 交差点(岐阜県 岐阜市)



＜＜ 右折レーンの延伸を予定 ＞＞

国道 22 号 両郷町交差点(愛知県 一宮市)



＜＜ 左折レーンの延伸を予定 ＞＞

国道 1 号 安新歩道橋交差点(静岡県 浜松市)



＜＜ 左折レーンの 2 車線化を予定 ＞＞

国道 23 号 市場庄町交差点(三重県 松阪市)



＜＜ 右折レーンの延伸を予定 ＞＞

出典：2018年度 中部地方整備局関係予算の概要（2018年3月30日付け記者発表資料）

P.30